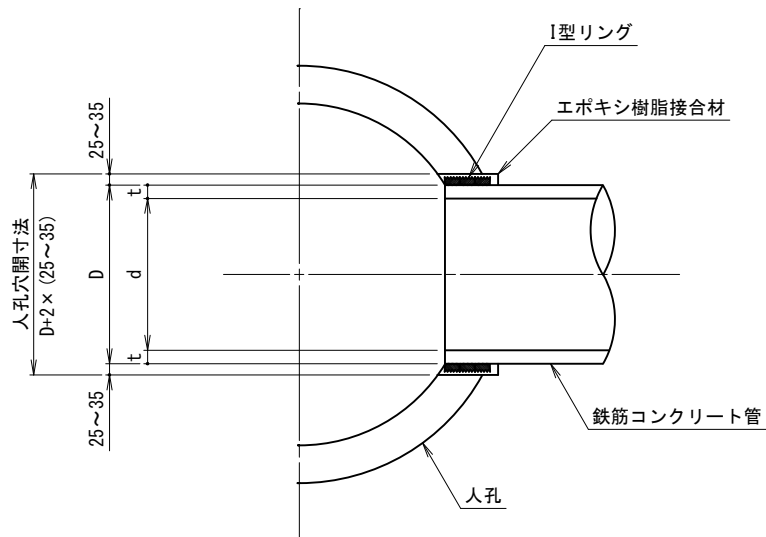


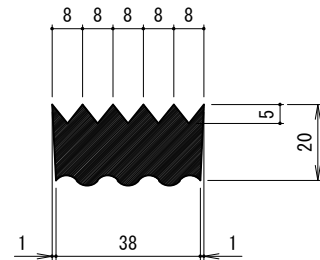
# 人孔設置工

# 人孔接続図(鉄筋コンクリート管)

平面図  
S=1:20



I型リング詳細図  
S=1:2



I型リング適用表

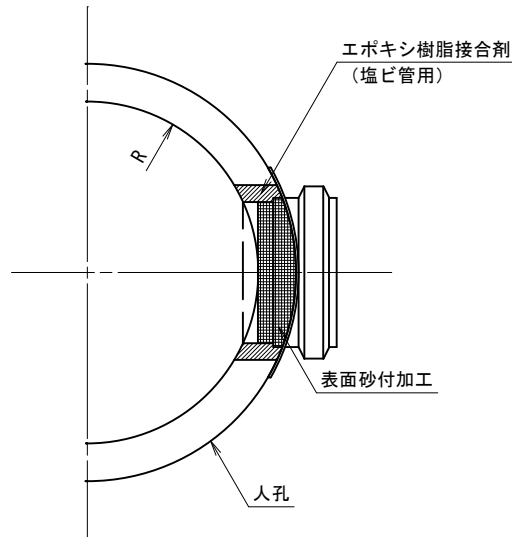
人孔種類		壁厚 (mm)	使用本数 (本)
江別市型	1号人孔	83	2
	2号人孔	100	2
	3号人孔	125	3
	4号人孔	150	3
旧江別市型	1号人孔	100	3
	2号人孔	115	3
	3号人孔	112	3
	4号人孔	127	3
特殊人孔		230	6
その他		T	T/40(整数切上げ)

- 注
- (1) 各種人孔と鉄筋コンクリート管の接続箇所にI型リングを取付け、エポキシ樹脂接合材を充填する。
  - (2) 適用管径は、800mm以下(B型管)とする。

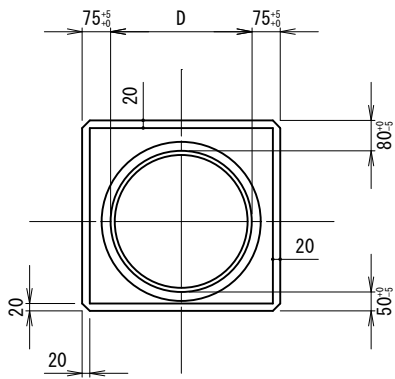
# 人孔接続図（塩化ビニール製人孔支管）

S=1:20

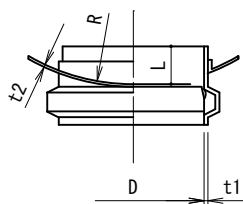
平面図



正面図



断面図



単位:mm

呼び	D (参考値)	t1 (参考値)	t2	R	L
150×1050	166.2	5.1	4.5	525	75
×1100	166.2	5.1	4.5	550	100
×1140	166.2	5.1	4.5	570	120
×1200	166.2	5.1	4.5	600	150
×1260	166.2	5.1	4.5	630	180
×1300	166.2	5.1	4.5	650	200
200×1050	217.3	6.5	4.5	525	75
×1100	217.3	6.5	4.5	550	100
×1140	217.3	6.5	4.5	570	120
×1200	217.3	6.5	4.5	600	150
×1260	217.3	6.5	4.5	630	180
×1300	217.3	6.5	4.5	650	200
250×1050	268.6	7.8	4.5	525	75
×1100	268.6	7.8	4.5	550	100
×1140	268.6	7.8	4.5	570	120
×1200	268.6	7.8	4.5	600	150
×1260	268.6	7.8	4.5	630	180
×1300	268.6	7.8	4.5	650	200
300×1050	319.9	9.2	7.0	525	75
×1100	319.9	9.2	7.0	550	100
×1140	319.9	9.2	7.0	570	120
×1200	319.9	9.2	7.0	600	150
×1260	319.9	9.2	7.0	630	180
×1300	319.9	9.2	7.0	650	200
350×1050	372.2	10.5	7.0	525	75
×1100	372.2	10.5	7.0	550	100
×1140	372.2	10.5	7.0	570	120
×1200	372.2	10.5	7.0	600	150
×1260	372.2	10.5	7.0	630	180
×1300	372.2	10.5	7.0	650	200

## 本管穴明径選定表

摘要管径	コンクリート管用	塩ビ管用
φ 150	-	206
φ 200	304	252
φ 250	356	-
φ 300	410	-
φ 350	456	-
φ 400	530	-
φ 450	586	-
φ 500	644	-
φ 600	760	-
φ 700	866	-
φ 800	1002	-
φ 900	1120	-

## 人孔穴明径選定表

### 鉄筋コンクリート管

布設管径	必要最小穴径 (B型管・外径)	江別市型			旧江別市型		
			コア穴明径	余裕		コア穴明径	余裕
φ 150	202	-	270	34	-	252	25
φ 200	254	-	314	30	-	304	25
φ 250	306	-	366	30	-	356	25
φ 300	360	-	420	30	-	410	25
φ 350	414	-	474	30	-	464	25
φ 400	470	-	530	30	-	530	30
φ 450	526	-	586	30	-	586	30
φ 500	584	-	644	30	-	644	30
φ 600	700	-	760	30	-	760	30
φ 700	816	-	886	35	-	886	35
φ 800	932	-	1002	35	-	1002	35
φ 900	1050	-	1120	35	-	1120	35
φ 1000	1164	-	1124	30	-	1124	30
φ 1100	1276	-	1340	32	-	1340	32
φ 1200	1390	-	1450	30	-	1450	30

### 塩化ビニール管

布設管径	必要最小穴径 (人孔支管径)	江別市型			旧江別市型		
			コア穴明径	余裕		コア穴明径	余裕
φ 150	180~176	φ 200	270	45~47	φ 200	252	36~38
φ 200	236~230	φ 200	314	39~42	φ 200	304	34~37
φ 250	289~284	φ 250	366	38~41	φ 250	356	33~36
φ 300	343~339	φ 300	420	39~41	φ 300	410	34~36
φ 350	-	-	-	-	-	-	-
φ 400	-	-	-	-	-	-	-
φ 450	-	-	-	-	-	-	-
φ 500	-	-	-	-	-	-	-
φ 600	-	-	-	-	-	-	-
φ 700	-	-	-	-	-	-	-
φ 800	-	-	-	-	-	-	-
φ 900	-	-	-	-	-	-	-
φ 1000	-	-	-	-	-	-	-
φ 1100	-	-	-	-	-	-	-
φ 1200	-	-	-	-	-	-	-

# 人孔インバート設置方法

NON SCALE

1. 管底差5cm未満の場合は下流側管底と上流側管底を直線にて結んだ型とする。(図1)
2. 管底差5cm以上の場合は下流側管底と同一勾配に設置する。(図2)
3. 管路が角度をもって接合される場合マンホールインバートの構造は下流方向に向け曲線をもって築造する。(図3)
4. インバート高さHは図4、図5による。
5. インバートの上部は、規定のインバート高からマンホール内壁に向けて、汚・雨水が滞留しないように1:0.1の勾配をつける。(図4、図5)
6. インバートコンクリートの配合は0-4とする。

図1

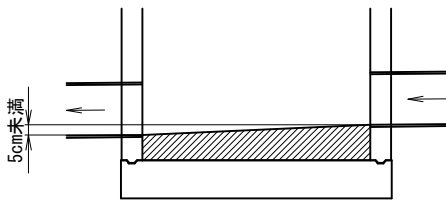


図2

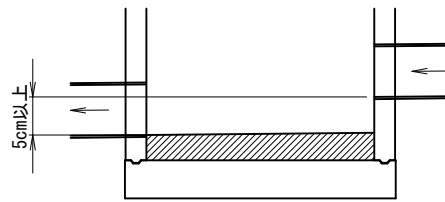


図3

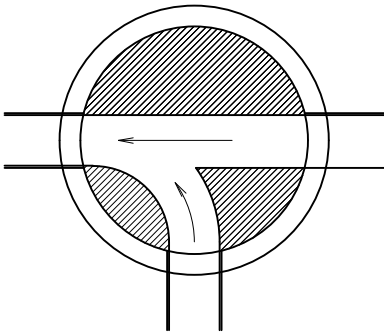
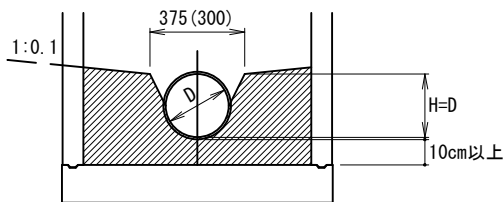


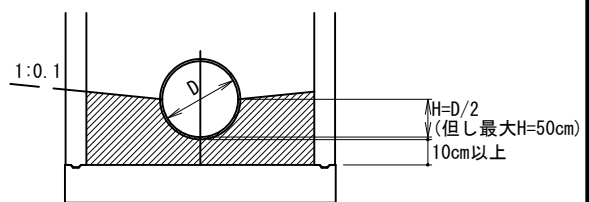
図4



適用条件

- ・ 汚水管 φ 250以下
- ・ ( ) 内は φ 200の値

図5

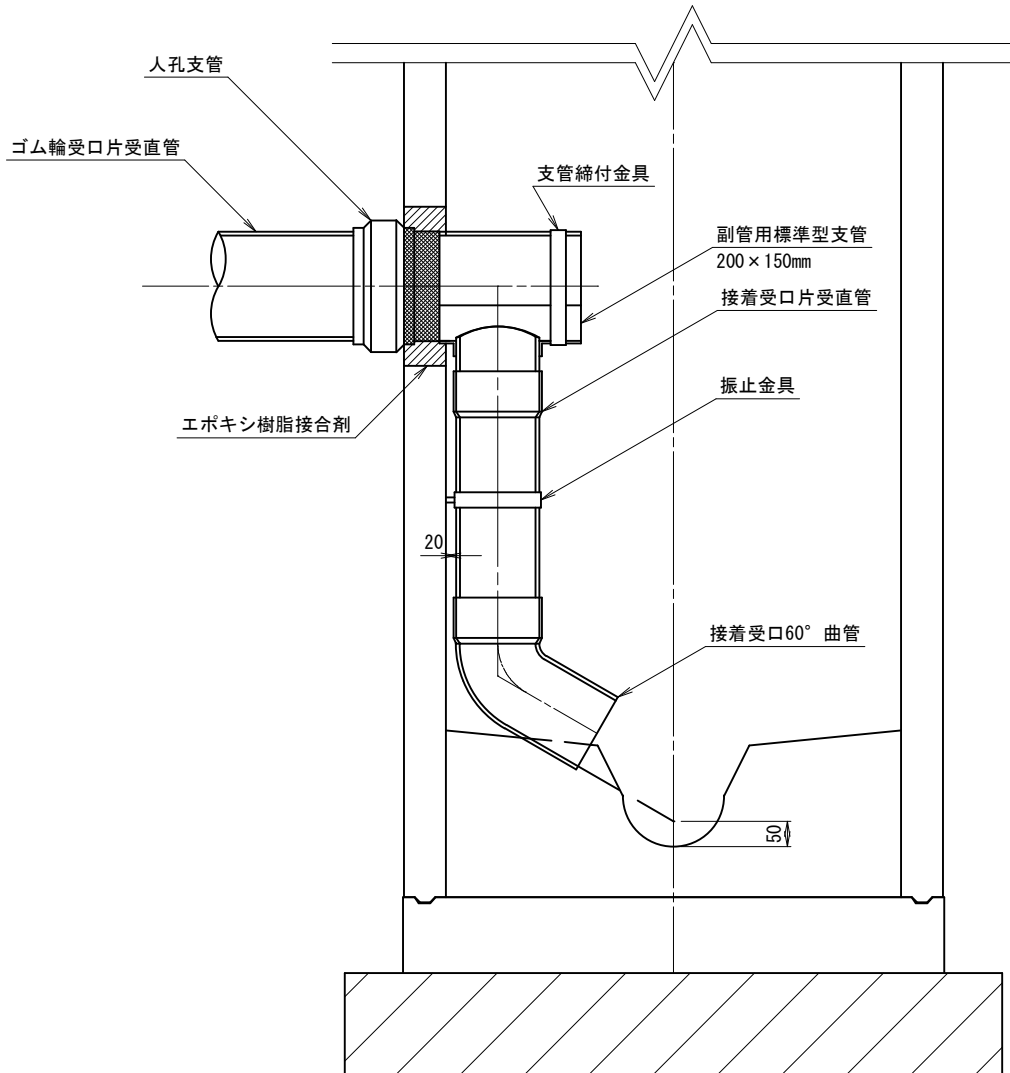


適用条件

- ・ 汚水管 φ 300以上
- ・ 雨水管

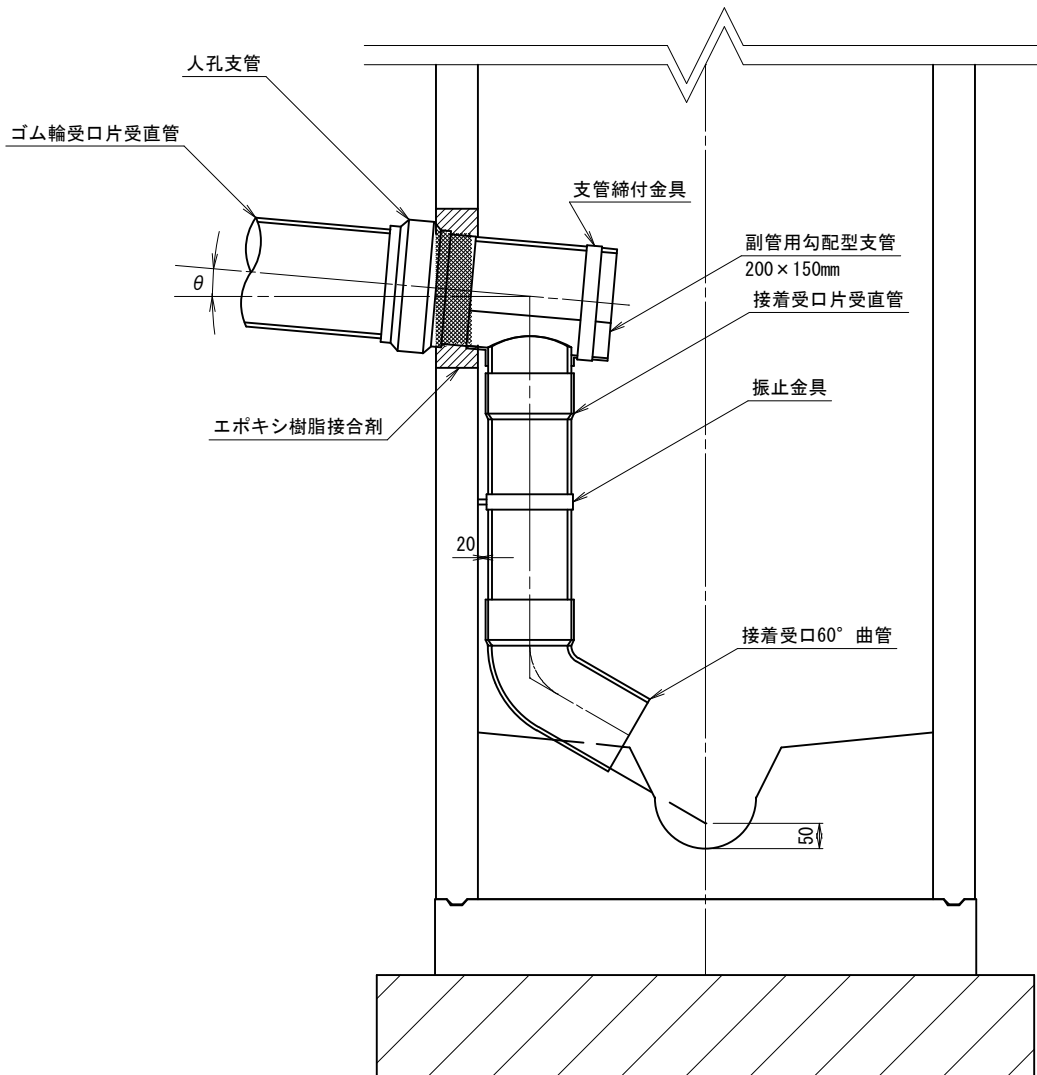
# 副管用勾配型支管

標準型 S=1:15



# 副管用勾配型支管

勾配型 S=1:15



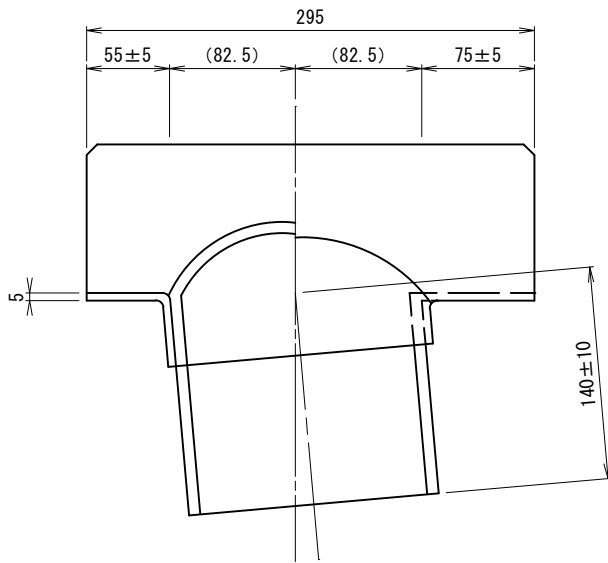
注)  $\theta$ は5° (75) 以下とする。



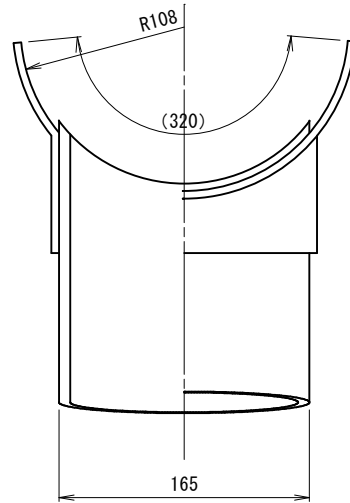
# 副管用勾配型支管

200 × 150mm S=1:5

断面図



平面図



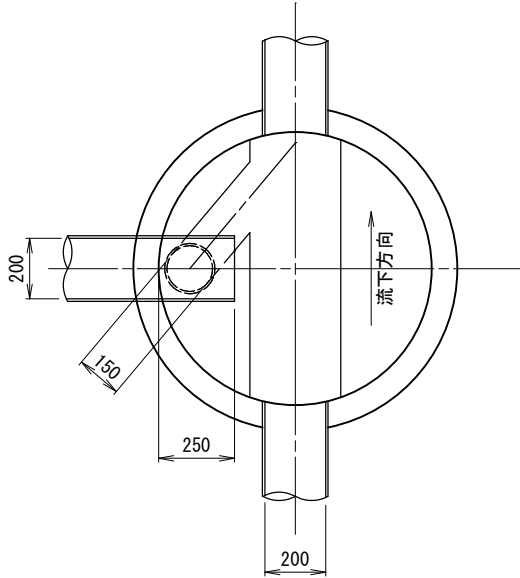
注)  $\theta$  は5° (75) 以下とする。

# 内副管定規図（交差接合）

S=1:25

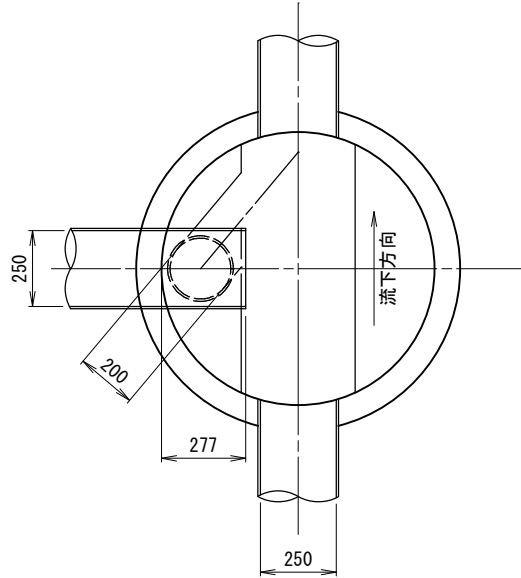
A-1型平面図

$\phi 200 \times \phi 150$ 、 $600\text{mm} \leq H < 698\text{mm}$

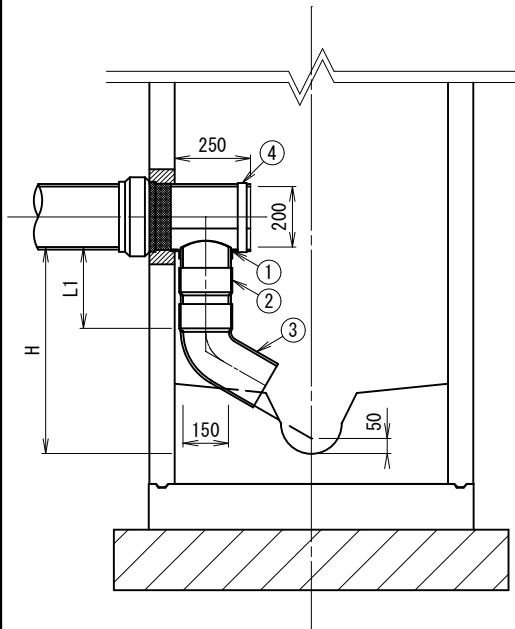


A-2型平面図

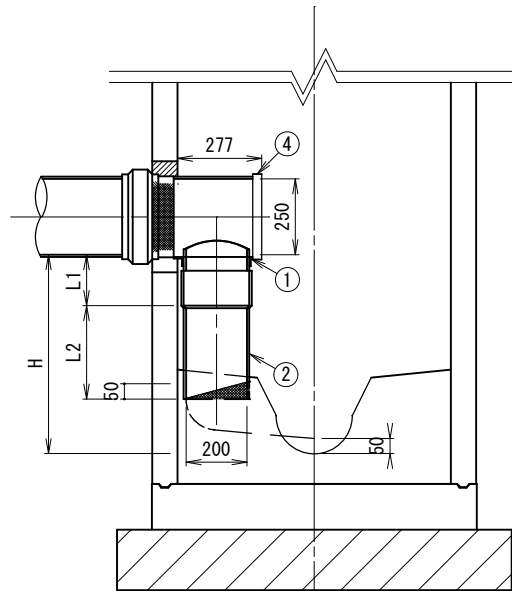
$\phi 250 \times \phi 200$ 、 $600\text{mm} \leq H < 946\text{mm}$



A-1型断面図



A-2型断面図



■ 切断加工

番号	名称
①	副管用90°支管
②	VU接着受口片受直管
③	VU接着受口60°曲管
④	支管締付金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む)
⑤	振止金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む)

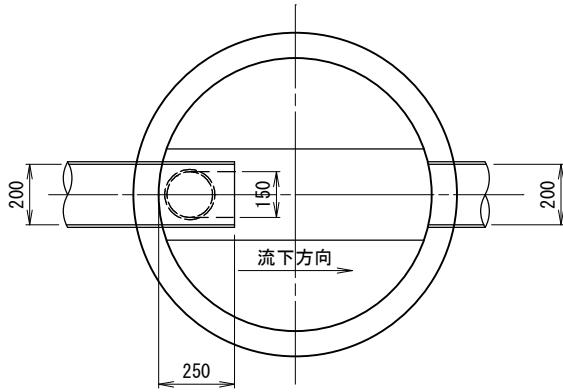
注) 流入管径が $\phi 250$ より大きい場合は、A-2型の構造に拠るものとする。

# 内副管定規図（縦断接合）

S=1:25

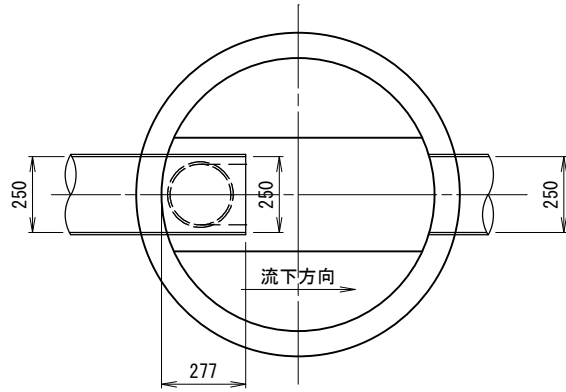
## B-1型平面図

$\phi 200 \times \phi 150$ 、 $600\text{mm} \leq H < 698\text{mm}$

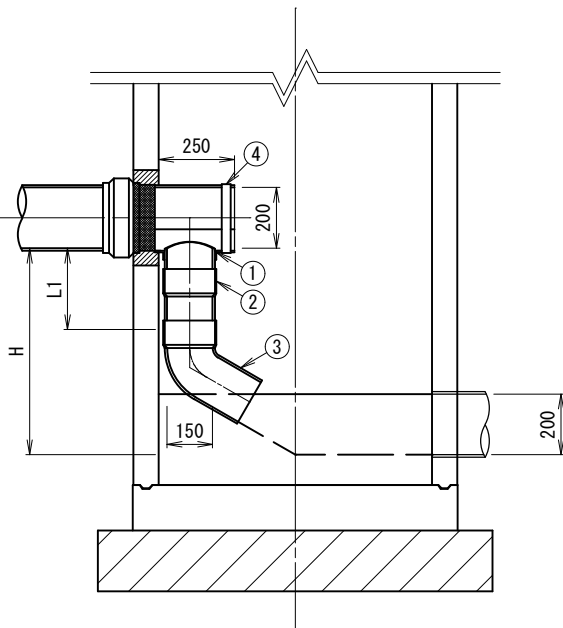


## B-2型平面図

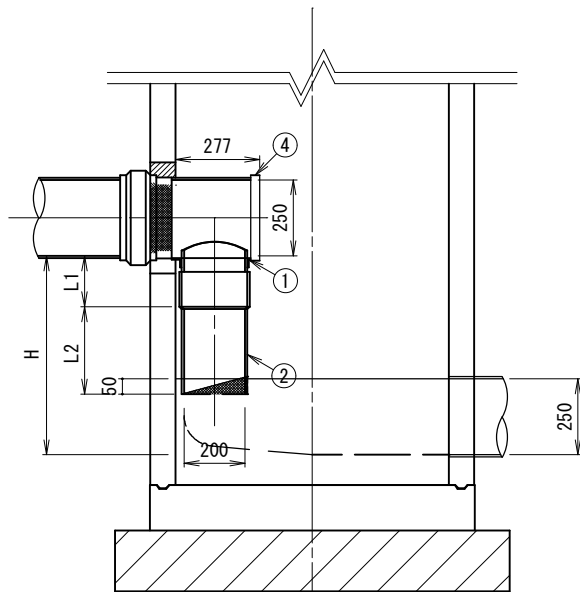
$\phi 250 \times \phi 200$ 、 $600\text{mm} \leq H < 946\text{mm}$



## B-1型断面図



## B-2型断面図



■ 切断加工

番号	名称
①	副管用90°支管
②	VU接着受口片受直管
③	VU接着受口60°曲管
④	支管締付金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む)
⑤	振止金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む)

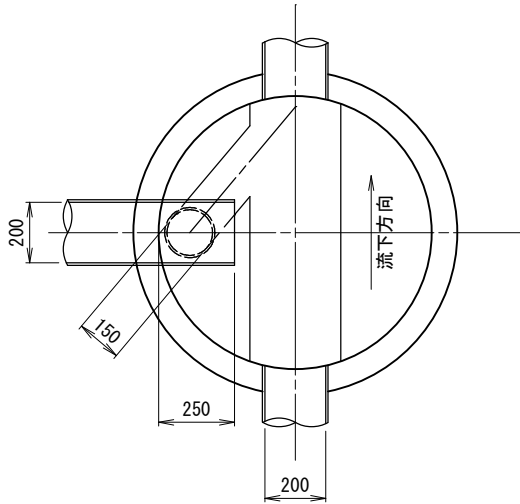
注) 流入管径が $\phi 250$ より大きい場合は、A-2型の構造に拠るものとする。

# 内副管定規図（交差接合）

S=1:25

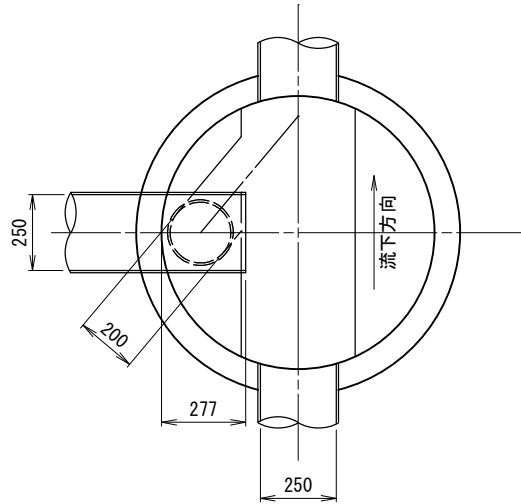
C-1型平面図

φ200×φ150、698mm≦H

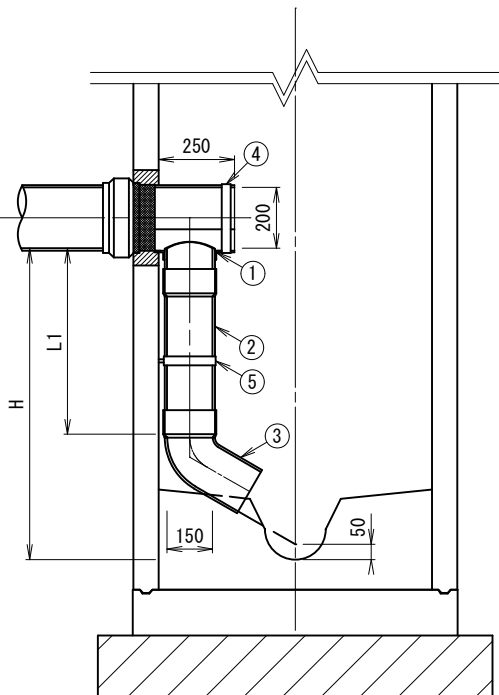


C-2型平面図

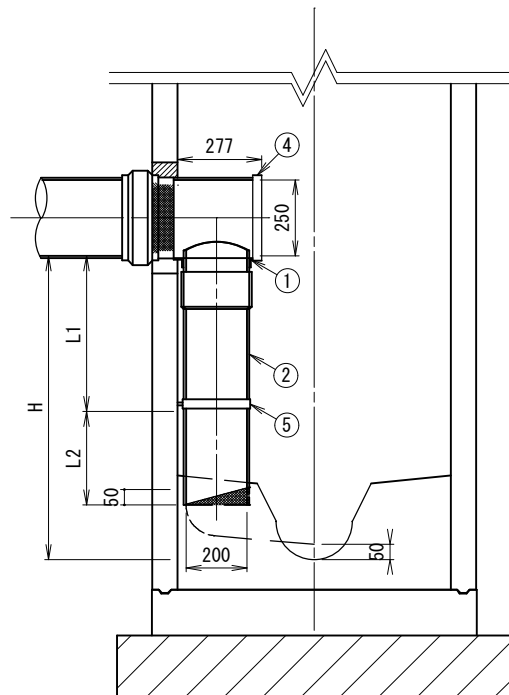
φ250×φ200、946mm≦H



C-1型断面図



C-2型断面図



切斷加工

番号	名称
①	副管用90°支管
②	VU接着受口片受直管
③	VU接着受口60°曲管
④	支管締付金具30×3（SUS304、ボルト、ナットを含む）
⑤	振止金具30×3（SUS304、ボルト、ナットを含む）上下流管底差1.5m以上の場合1組設置

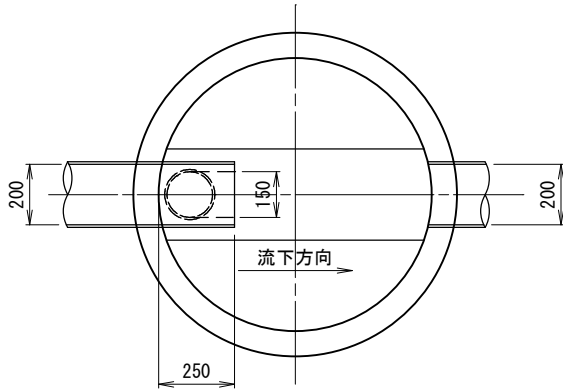
注) 流入管径がφ250より大きい場合は、A-2型の構造に拠るものとする。

# 内副管定規図（縦断接合）

S=1:25

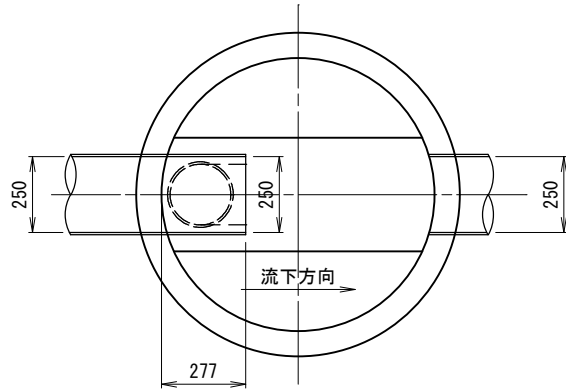
**D-1型平面図**

φ200×φ150、698mm≦H

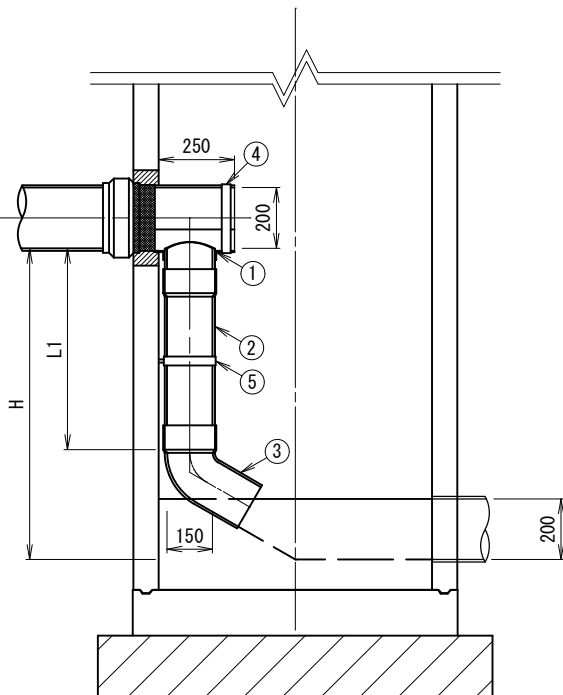


**D-2型平面図**

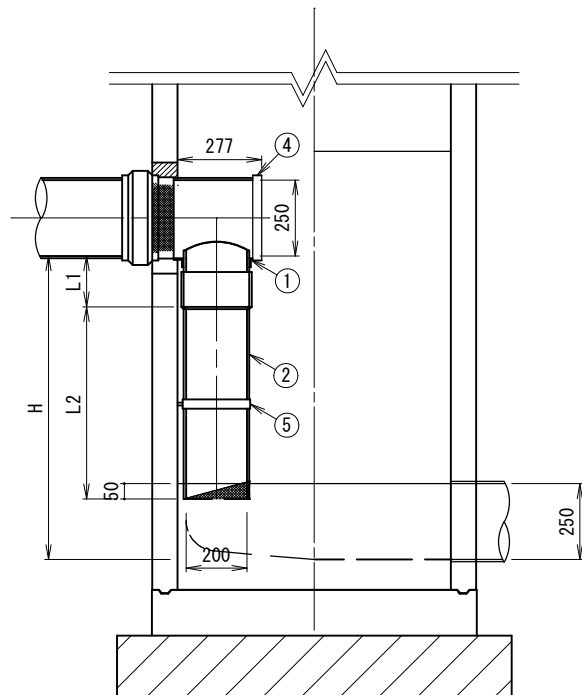
φ250×φ200、946mm≦H



**D-1型断面図**



**D-2型断面図**



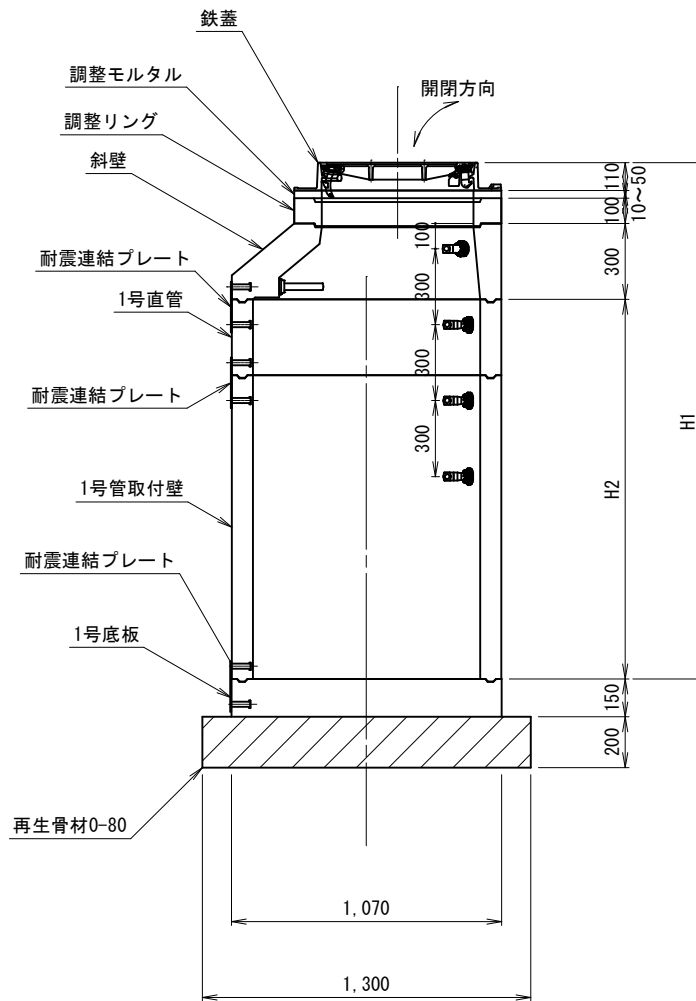
■ 切断加工

番号	名称
①	副管用90°支管
②	VU接着受口片受直管
③	VU接着受口60°曲管
④	支管締付金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む)
⑤	振止金具30×3 (SUS304、ボルト、ナットを含む) 上下流管底差1.5mごとに1組設置

注) 流入管径がφ250より大きい場合は、A-2型の構造に拠るものとする。

# 江別市型1号人孔標準図

S=1:30



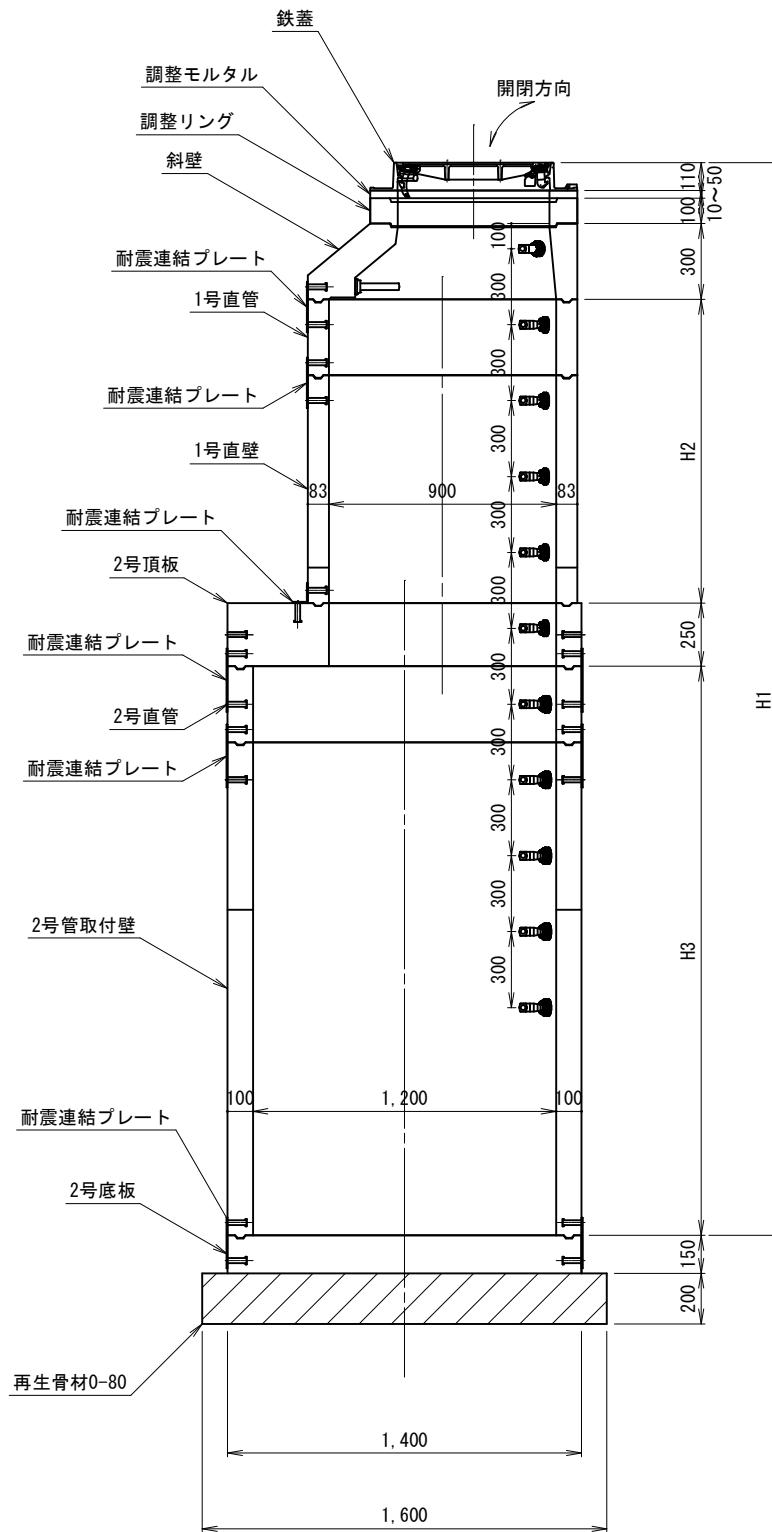
- 注) 1. マンホールは原則図面左側を道路中心方向とし設置する。また、蓋は図面右側が開閉方向となるよう設置する。  
ただし、交差点内に設置する場合等については、周辺状況を勘案し決定する。
2. 調整モルタル高は3cmを標準とし、1~5cmの範囲で調整を行う。
3. 調整リング、斜壁、直管、丁板、取付壁、底板の目地部には直管ゴム・リングを設置すること。

## 江別市型1号人孔使用資材一覧表

型式 品名	規格・寸法	単位	部材の組合せ																						
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
人孔高(H1)		(m)	1.43	1.58	1.73	1.88	2.03	2.18	2.33	2.48	2.63	2.78	2.93	3.08	3.23	3.38	3.53	3.68	3.84	3.98	4.13	4.28	4.43	4.58	
直管高(H2)		(m)	0.90	1.05	1.20	1.35	1.50	1.65	1.80	1.95	2.10	2.25	2.40	2.55	2.70	2.85	3.00	3.15	3.30	3.45	3.60	3.75	3.90	4.05	
鉄枠(受枠含)	φ600×H110	(組)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
調整モルタル	H10~50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
調整リング	φ600×H100	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
斜壁	φ600×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
直壁	φ900×H300	(本)	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	
	φ900×H600	(本)							1									1							
	φ900×H900	(本)									1										1				
	φ900×H1200	(本)											1										1		
	φ900×H1500	(本)													1										
	φ900×H1800	(本)															1								
	φ900×H2100	(本)																	1						
	φ900×H2400	(本)																				1		1	
管取付壁	φ900×H600	(本)	1																						
	φ900×H750	(本)		1																					
	φ900×H900	(本)			1																				
	φ900×H1050	(本)				1		1		1			1		1		1		1		1		1	1	
	φ900×H1200	(本)					1																		
	φ900×H1500	(本)							1																
	φ900×H1800	(本)									1														
	φ900×H2100	(本)										1		1		1		1		1		1		1	
φ900×H2400	(本)													1											
底板	φ1070×H150	(個)																							
足掛金物		(本)	2	3	3	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	

# 江別市型2号人孔標準図

S=1:30



- 注) 1. マンホールは原則図面左側を道路中心方向とし設置する。また、蓋は図面右側が開閉方向となるよう設置する。  
 ただし、交差点内に設置する場合等については、周辺状況を勘案し決定する。
2. 調整モルタル高は3cmを標準とし、1~5cmの範囲で調整を行う。
3. 調整リング、斜壁、直管、丁板、取付壁、底板の目地部には直管ゴム・リングを設置すること。

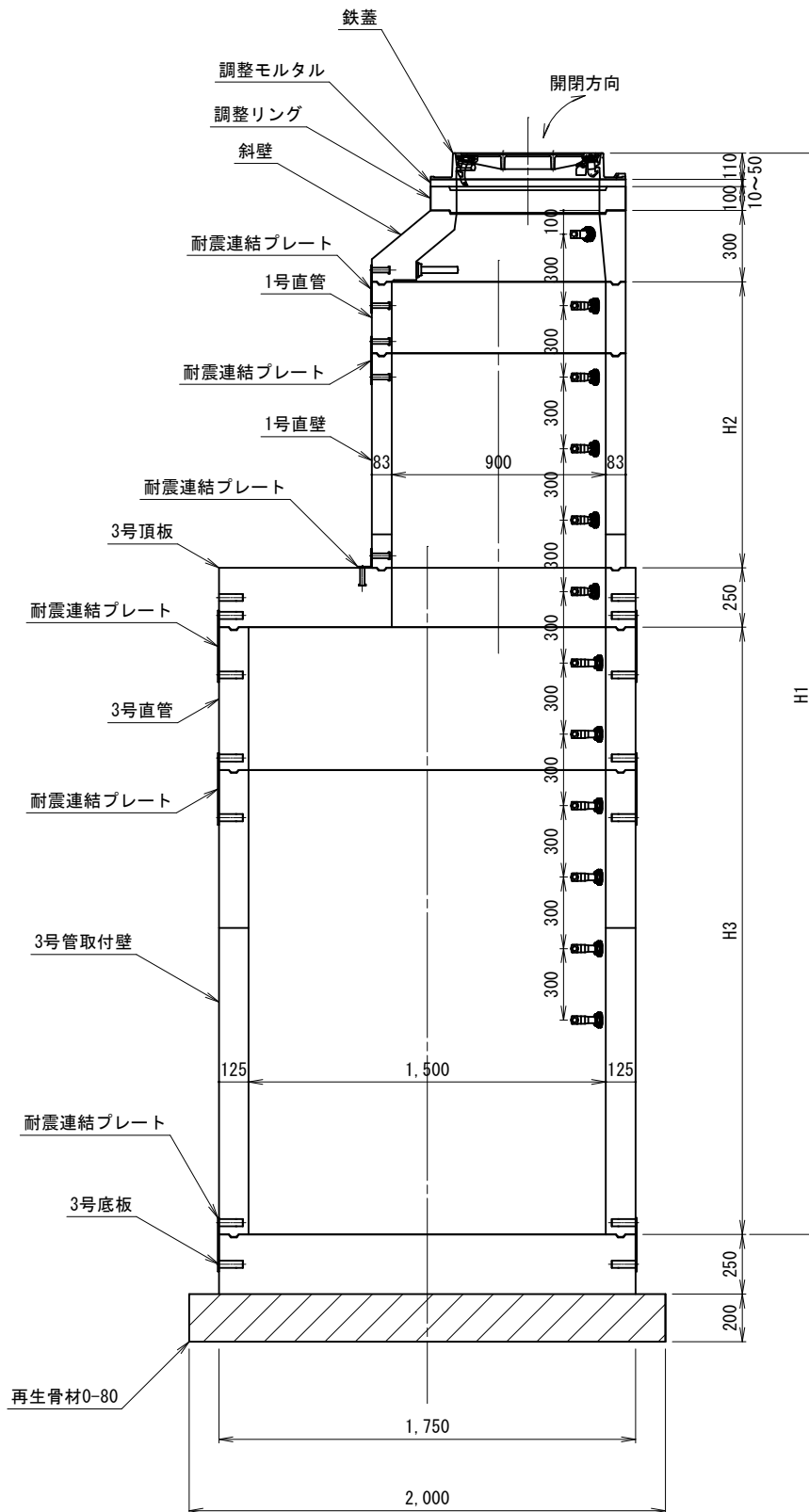


## 江別市型2号人孔使用資材一覧表

型式 品名	規格・寸法	単位	部材の組合せ																	
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
人孔高(H1)		(m)	1.98	2.28	2.58	2.88	3.03	3.18	3.33	3.48	3.63	3.78	3.93	4.08	4.23	4.38	4.53	4.68	4.83	4.98
直管高(H2)		(m)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.60	0.90	0.90	1.20	1.20	1.50
直管高(H3)		(m)	0.90	1.20	1.50	1.80	1.95	2.10	1.95	2.40	2.55	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70
鉄枠(受枠含)	φ600×H110	(組)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整モルタル	H10~50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整リング	φ600×H100	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
斜壁	φ600×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ900×H300	(本)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1
	φ900×H600	(本)														1	1			
	φ900×H900	(本)																1	1	
	φ900×H1200	(本)																		1
頂板	φ1200×H250	(本)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ1200×H600	(本)						1			1	2		2		2		2		2
	φ1200×H900	(本)								1			1		1		1		1	
管取付壁	φ1200×H900	(本)	1																	
	φ1200×H1200	(本)		1																
	φ1200×H1500	(本)			1			1		1		1		1		1		1		1
	φ1200×H1800	(本)				1														
	φ1200×H1950	(本)					1		1		1		1		1		1		1	
底板	φ1400×H150	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
足掛金物		(本)	4	5	6	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14

# 江別市型3号人孔標準図

S=1:30



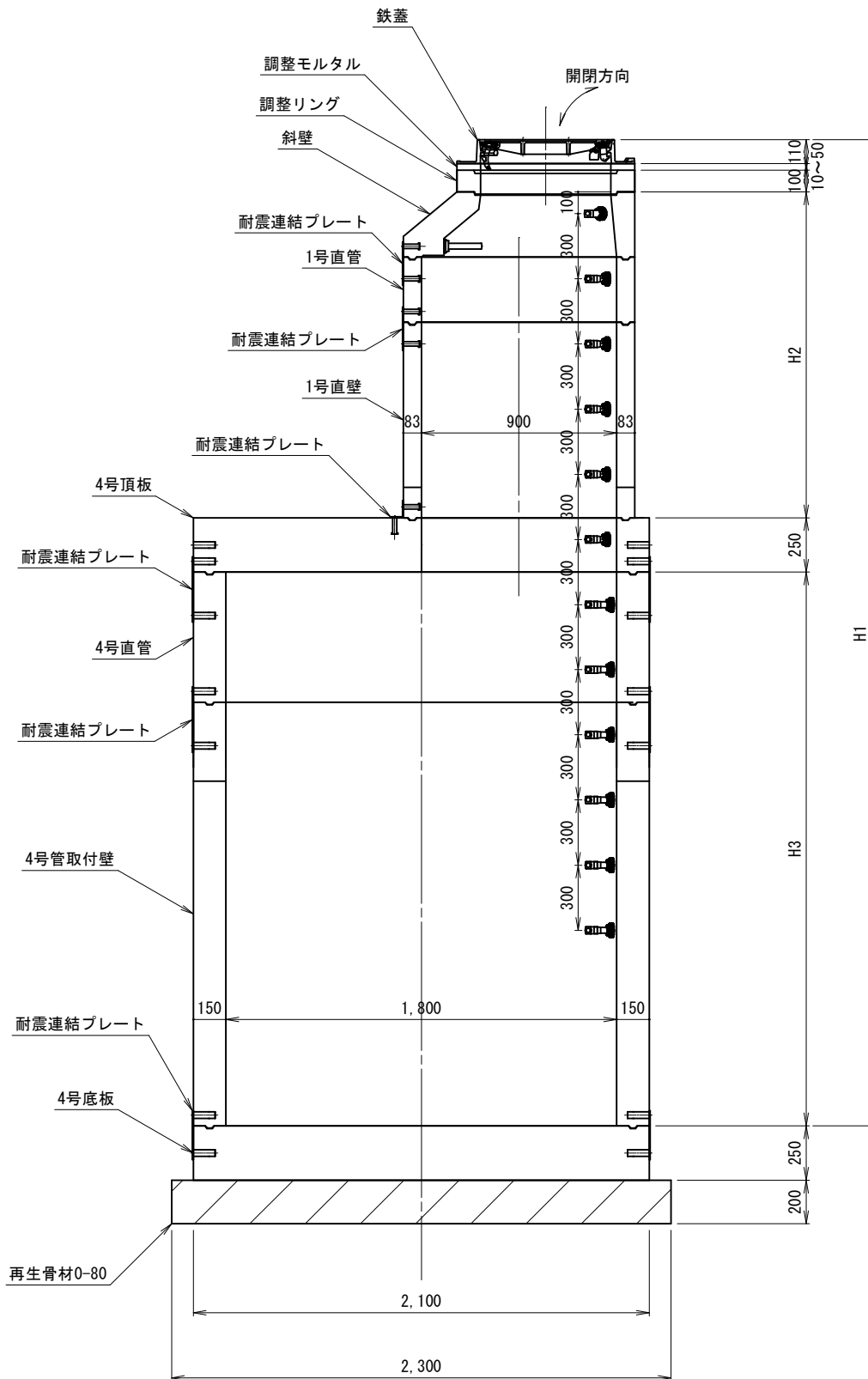
- 注) 1. マンホールは原則図面左側を道路中心方向とし設置する。また、蓋は図面右側が開閉方向となるよう設置する。  
 ただし、交差点内に設置する場合等については、周辺状況を勘案し決定する。
2. 調整モルタル高は3cmを標準とし、1~5cmの範囲で調整を行う。
3. 調整リング、斜壁、直管、丁板、取付壁、底板の目地部には直管ゴム・リングを設置すること。

## 江別市型3号人孔使用資材一覧表

型式 品名	規格・寸法	単位	部材の組合せ																			
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
人孔高(H1)		(m)	1.98	2.28	2.58	2.88	3.03	3.18	3.33	3.48	3.63	3.78	3.93	4.08	4.23	4.38	4.53	4.68	4.83	4.98	5.13	5.28
直管高(H2)		(m)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.60	0.90	0.90	1.20	1.20	1.50	1.50	1.80
直管高(H3)		(m)	0.90	1.20	1.50	1.80	1.95	2.10	1.95	2.40	2.55	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.70	2.70
鉄棒(受枠含)	φ600×H110	(組)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整モルタル	H10~50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整リング	φ600×H100	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
斜壁	φ600×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ900×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	φ900×H600	(本)														1	1					
	φ900×H900	(本)																1	1			
	φ900×H1200	(本)																		1	1	
	φ900×H1500	(本)																				1
頂板	φ1500×H250	(本)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ1500×H600	(本)								1	2		2		2		2		2		2	2
	φ1500×H900	(本)								1		1		1		1		1		1		1
管取付壁	φ1500×H900	(本)	1																			
	φ1500×H1200	(本)		1																		
	φ1500×H1500	(本)			1			1		1		1		1		1		1		1		1
	φ1500×H1800	(本)				1																
	φ1500×H1950	(本)					1		1		1		1		1		1		1		1	1
底版	φ1750×H250	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
足掛金物		(本)	4	5	6	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15

# 江別市型4号人孔標準図

S=1:30



- 注) 1. マンホールは原則図面左側を道路中心方向とし設置する。また、蓋は図面右側が開閉方向となるよう設置する。  
 ただし、交差点内に設置する場合等については、周辺状況を勘案し決定する。
2. 調整モルタル高は3cmを標準とし、1~5cmの範囲で調整を行う。
3. 調整リング、斜壁、直管、丁板、取付壁、底板の目地部には直管ゴム・リングを設置すること。

## 江別市型4号人孔使用資材一覧表

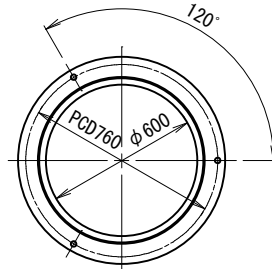
型式 品名	規格・寸法	単位	部材の組合せ																			
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
人孔高(H1)		(m)	1.98	2.28	2.58	2.88	3.03	3.18	3.33	3.48	3.63	3.78	3.93	4.08	4.23	4.38	4.53	4.68	4.83	4.98	5.13	5.28
直管高(H2)		(m)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.30	0.30	0.30	0.30	0.60	0.60	0.90	0.90	1.20	1.20	1.50	1.50	1.80
直管高(H3)		(m)	0.90	1.20	1.50	1.80	1.95	2.10	1.95	2.40	2.55	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.85	2.70	2.70	2.70
鉄棒(受枠含)	φ600×H110	(組)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整モルタル	H10~50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調整リング	φ600×H100	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
斜壁	φ600×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ900×H300	(個)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	φ900×H600	(本)														1	1					
	φ900×H900	(本)																1	1			
	φ900×H1200	(本)																		1	1	
	φ900×H1500	(本)																				1
頂板	φ1800×H250	(本)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
直壁	φ1800×H600	(本)						1			1	2		2		2		2		2		2
	φ1800×H900	(本)								1			1		1		1		1		1	
管取付壁	φ1800×H900	(本)	1																			
	φ1800×H1200	(本)		1																		
	φ1800×H1500	(本)			1			1		1		1		1		1		1		1		1
	φ1800×H1800	(本)				1																
	φ1800×H1950	(本)					1		1		1		1		1		1		1		1	
底版	φ2100×H250	(個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
足掛金物		(本)	4	5	6	7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15

# 江別市型1号人孔調整リング

S=1:30

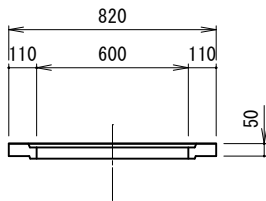
## 平面図

注) 旧江別市型人孔と共通

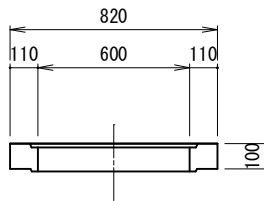


## 断面図

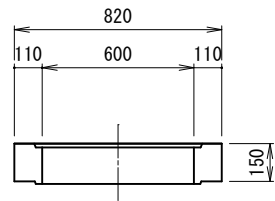
H=50



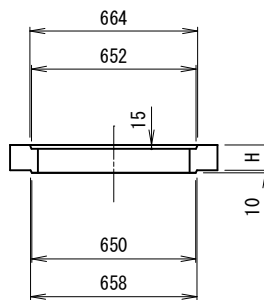
H=100



H=150



## 目地部詳細図

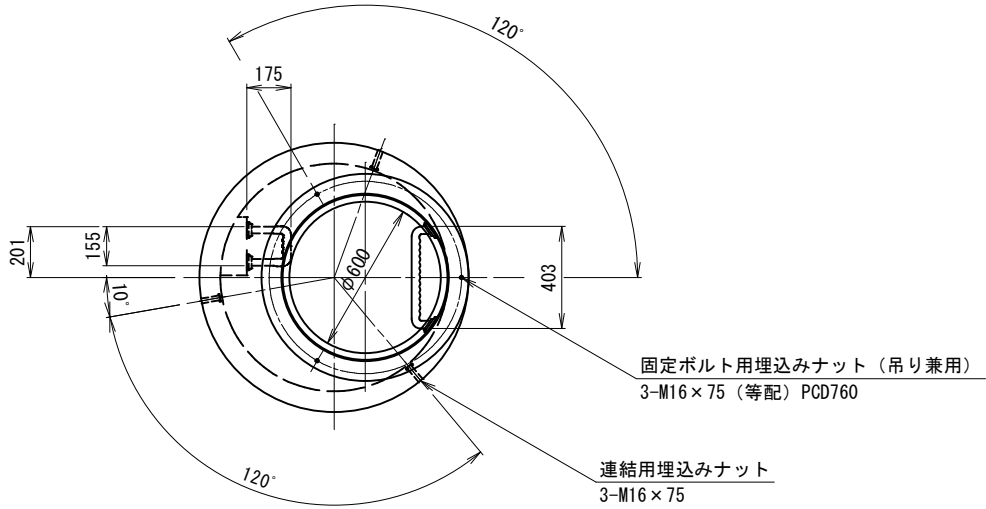


# 江別市型1号人孔斜壁

S=1:30

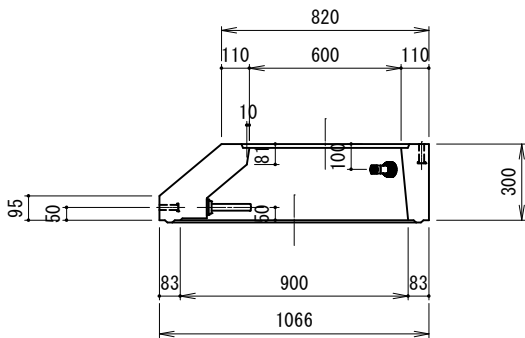
## 平面図

S=1:30



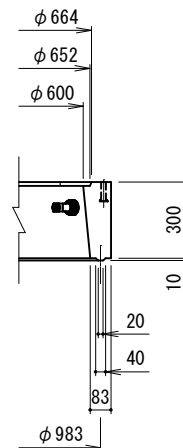
## 断面図

S=1:30



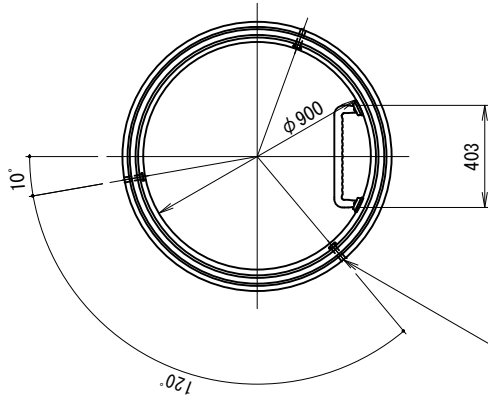
## 接合目地部詳細図

S=1:60



# 江別市型1号人孔直管

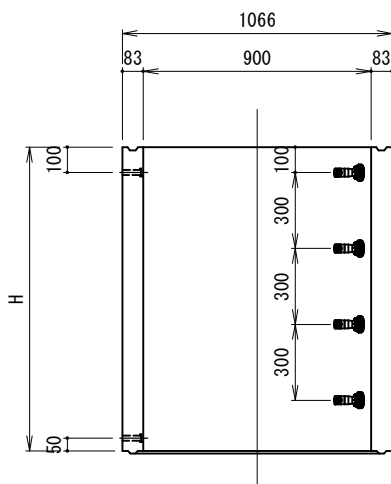
平面図  
S=1:30



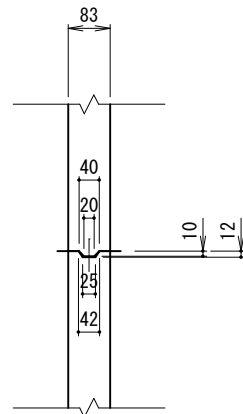
足掛金物設置段数

H(mm)	設置数(段)
300	1
600	2
900	3
1200	4
1500	5
1800	6
2100	7
2400	8

断面図  
S=1:30



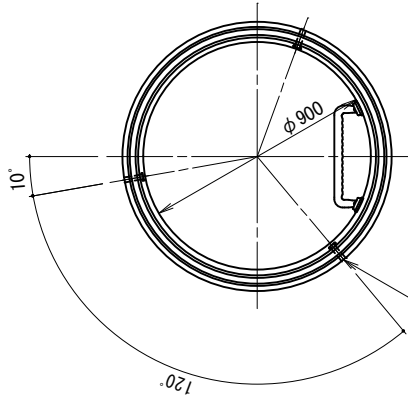
接合目地部詳細図  
S=1:60





# 江別市型1号人孔管取付直管

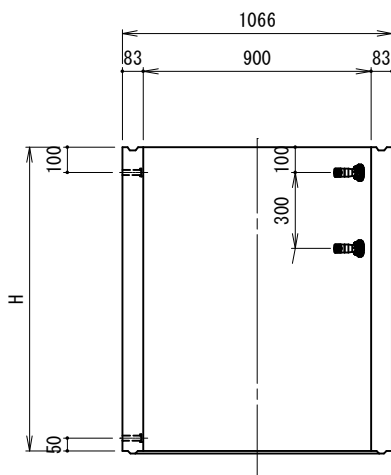
平面図  
S=1:30



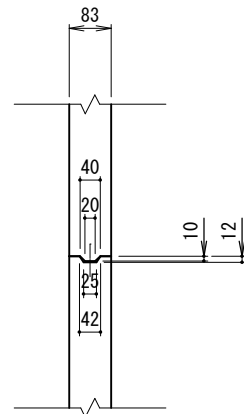
足掛金物設置段数

H (mm)	設置数 (段)
600	0
750	1
900	1
1050	2
1200	2
1500	3
1800	4
2100	5
2400	6

断面図  
S=1:30



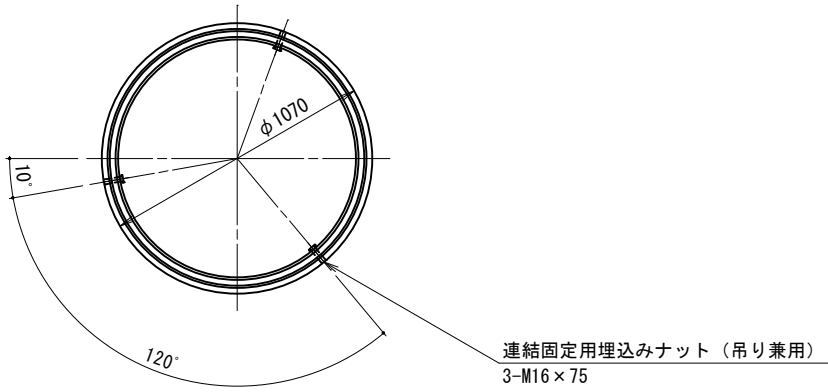
接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型1号人孔底版

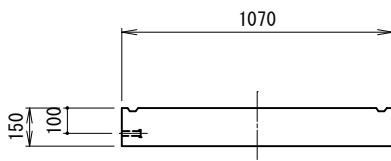
平面図

S=1:30



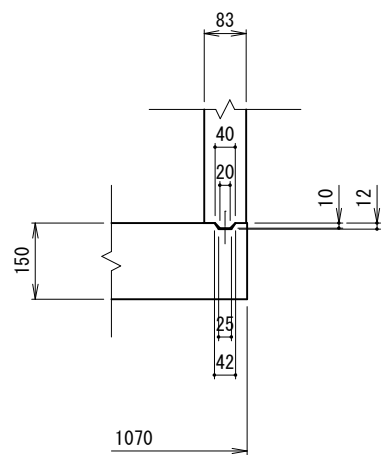
断面図

S=1:30



接合目地部詳細図

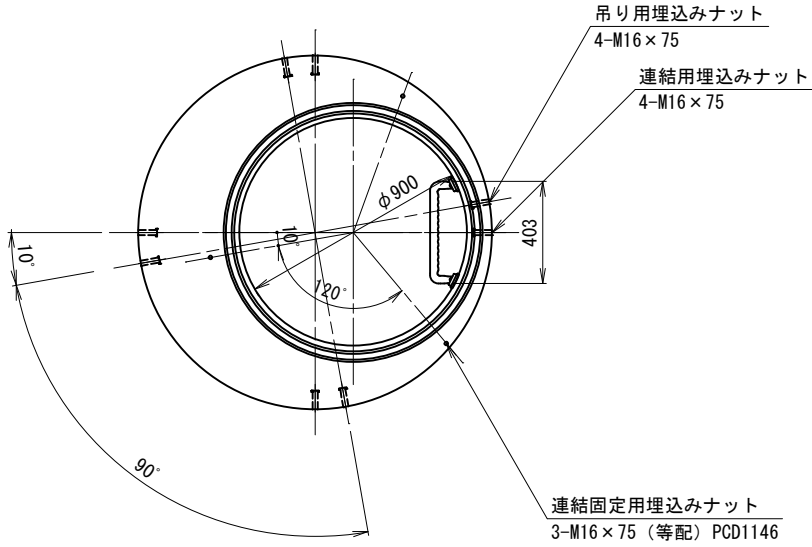
S=1:60



# 江別市型2号人孔中間スラブ

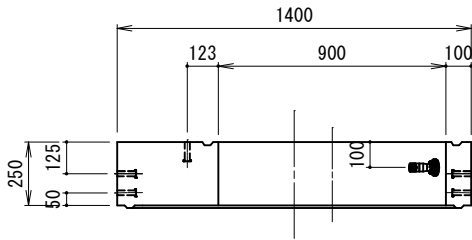
平面図

S=1:30



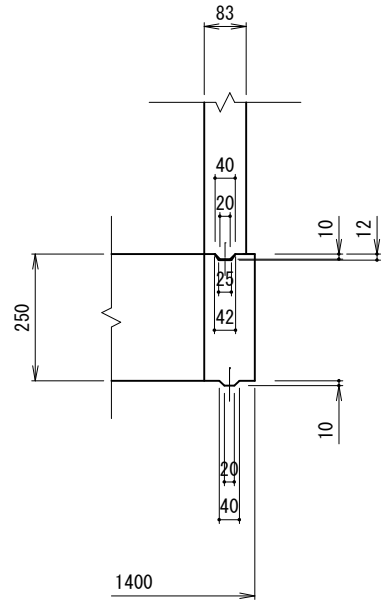
断面図

S=1:30



接合目地部詳細図

S=1:60

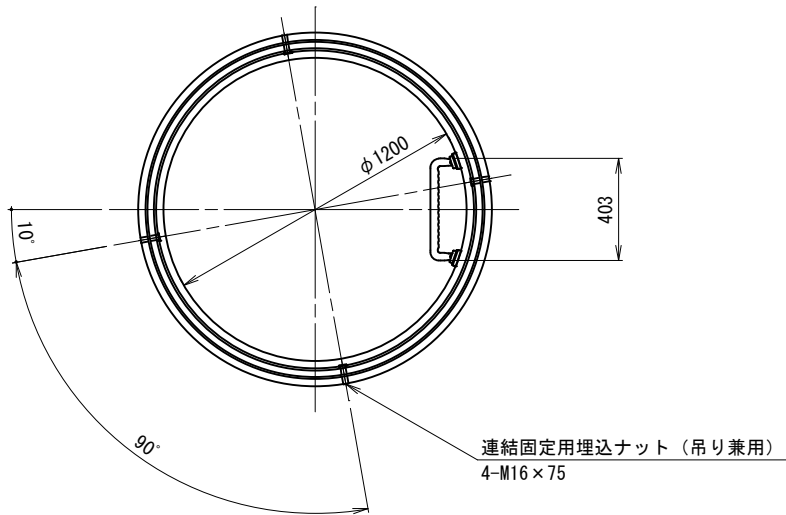


# 江別市型2号人孔直管

平面図  
S=1:30

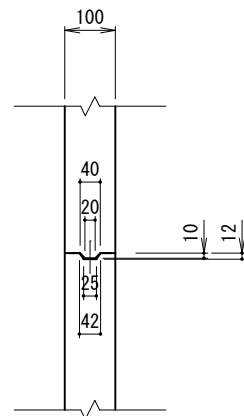
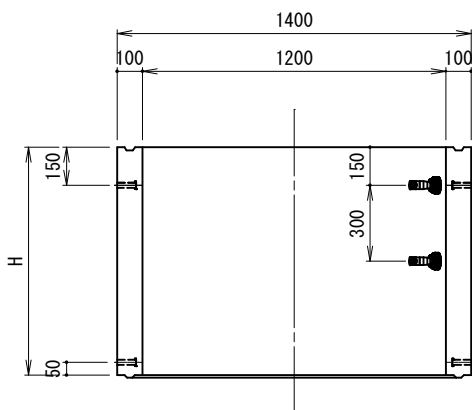
足掛金物設置段数

H(mm)	設置数(段)
600	2
900	3



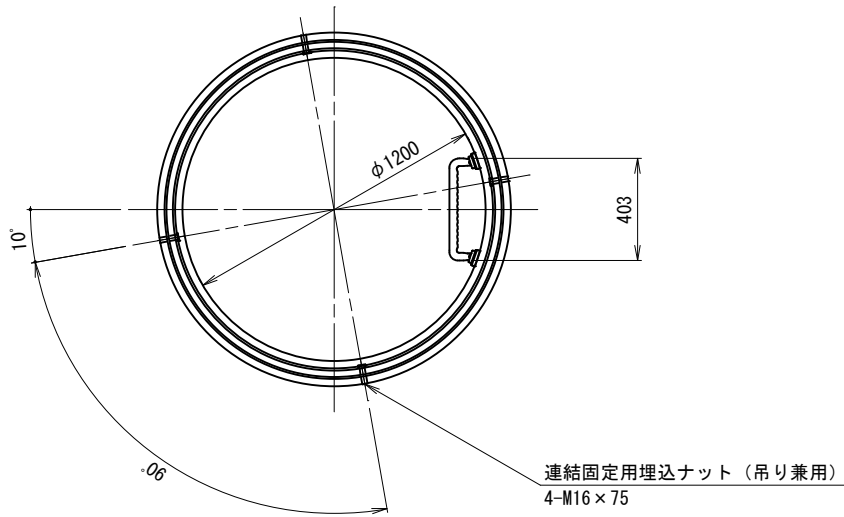
断面図  
S=1:30

接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型2号人孔管取付直管

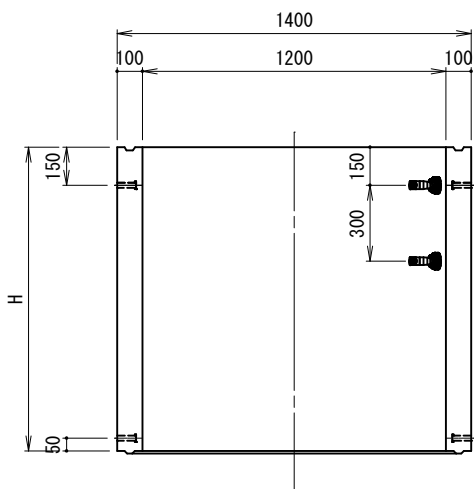
平面図  
S=1:30



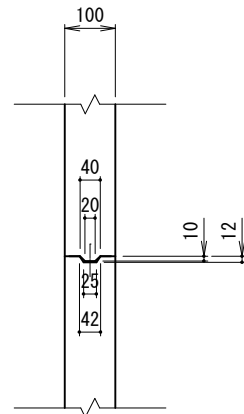
足掛金物設置段数

H(mm)	設置数(段)
900	1
1200	2
1500	3
1800	4
1950	4

断面図  
S=1:30

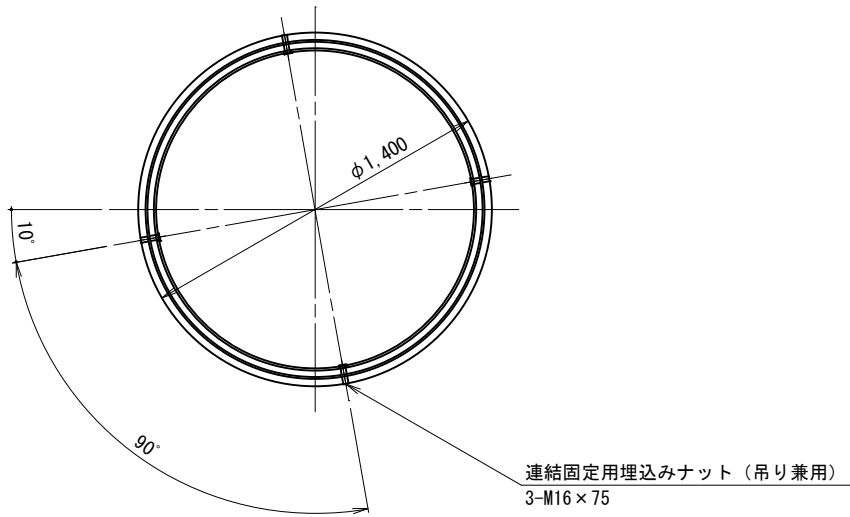


接合目地部詳細図  
S=1:60

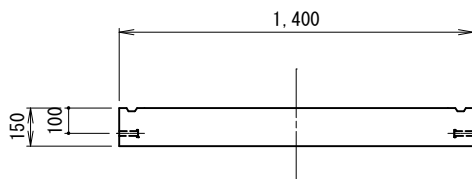


# 江別市型2号人孔底版

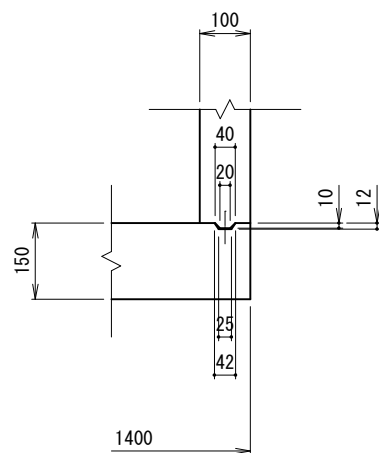
平面図  
S=1:30



断面図  
S=1:30



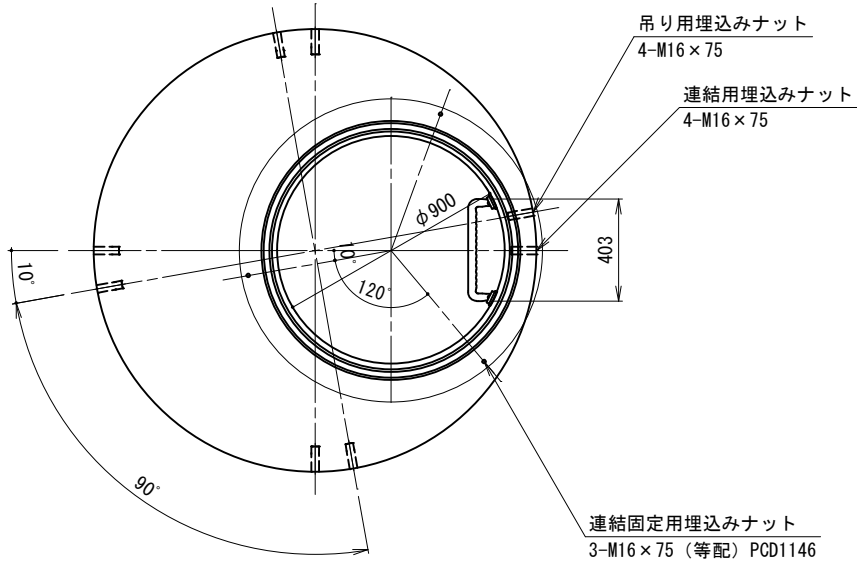
接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型3号人孔中間スラブ

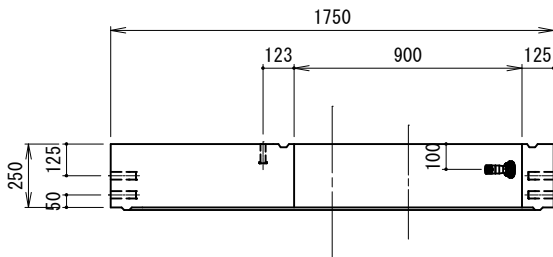
平面図

S=1:30



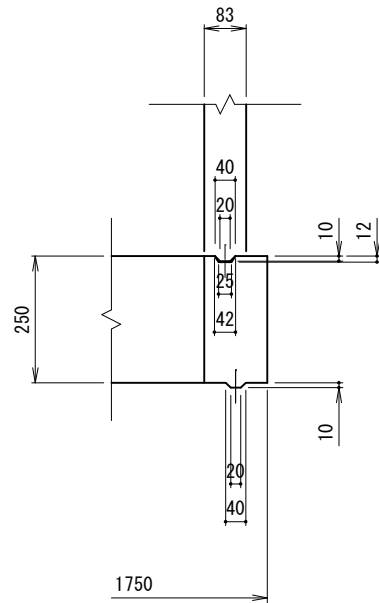
断面図

S=1:30



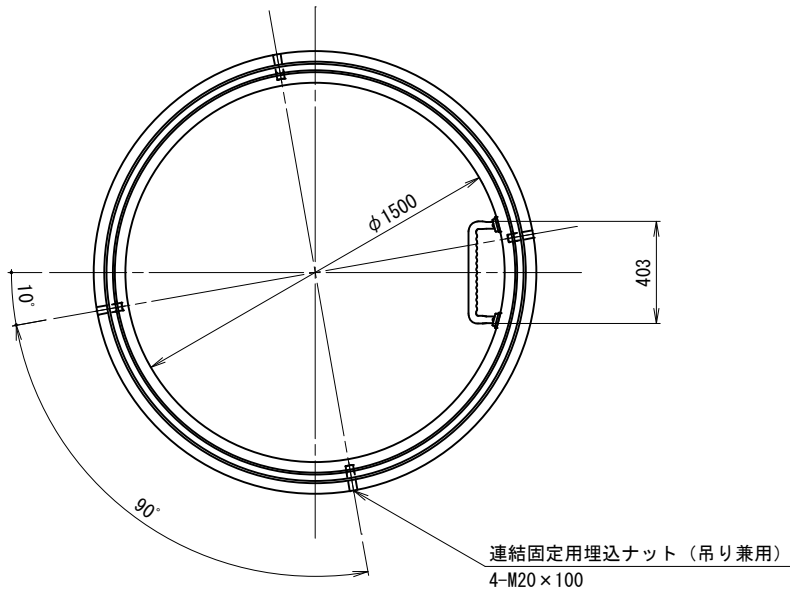
接合目地部詳細図

S=1:60



# 江別市型3号人孔直管

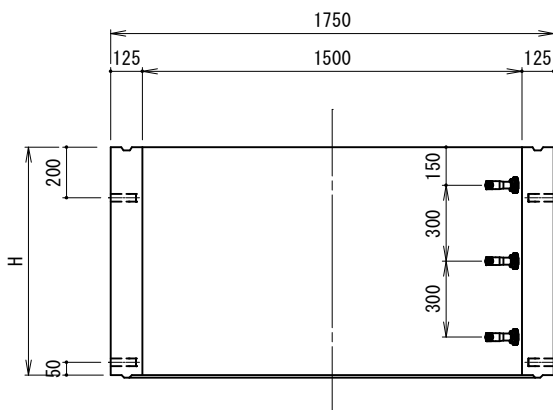
平面図  
S=1:30



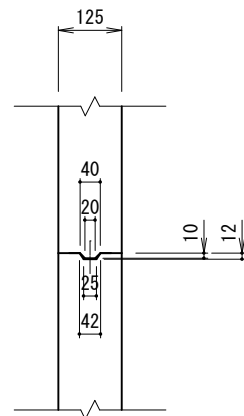
足掛金物設置段数

H (mm)	設置数 (段)
600	2
900	3

断面図  
S=1:30



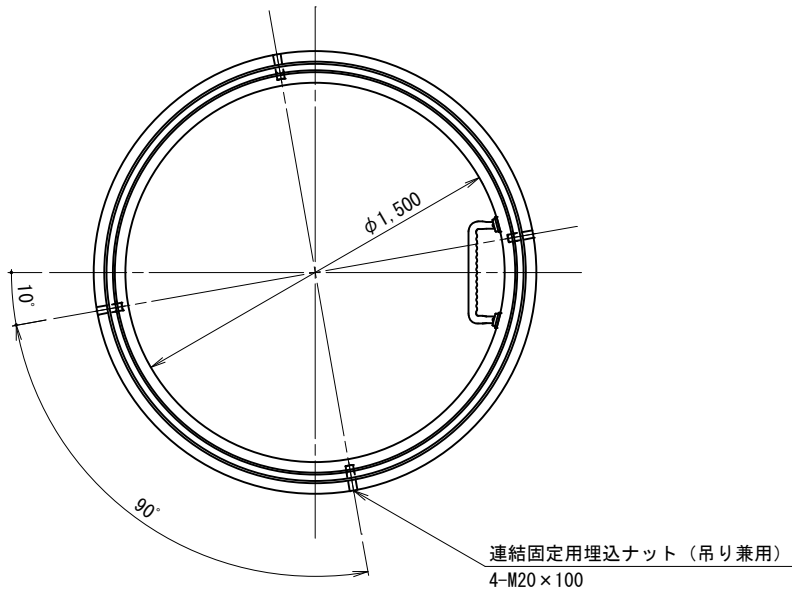
接合目地部詳細図  
S=1:60





# 江別市型3号人孔管取付直管

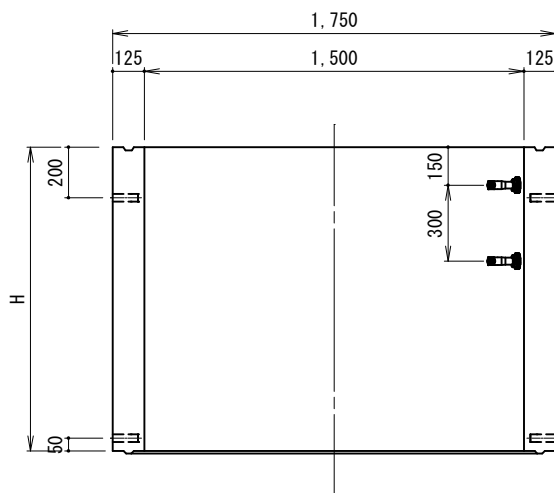
平面図  
S=1:30



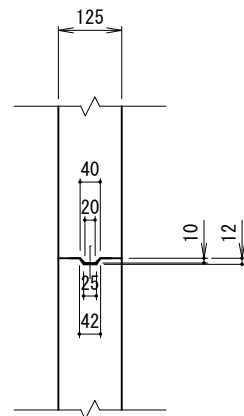
足掛金物設置段数

H (mm)	設置数 (段)
900	1
1200	2
1500	3
1800	4
1950	4

断面図  
S=1:30



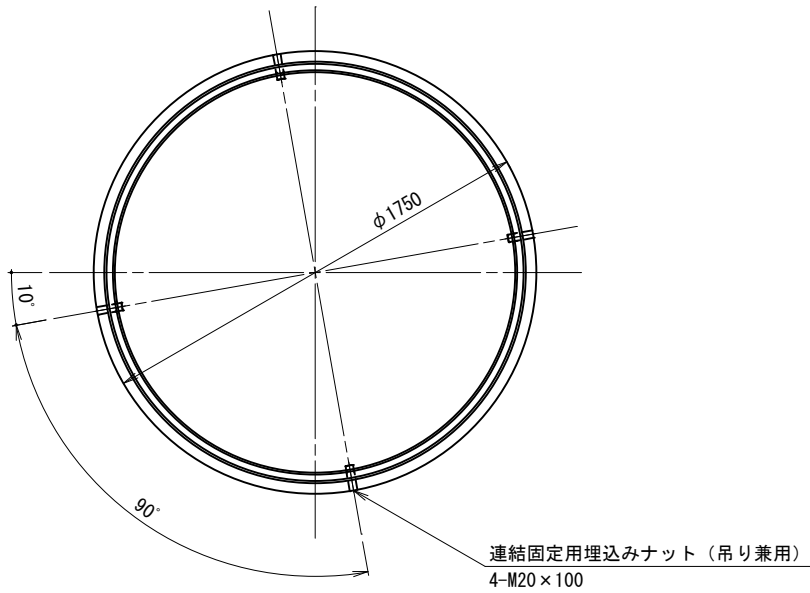
接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型3号人孔底版

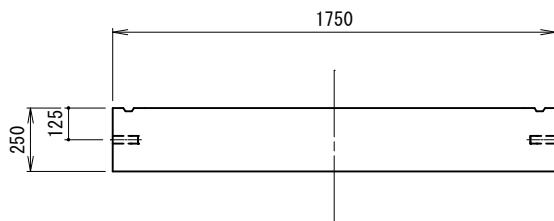
平面図

S=1:30



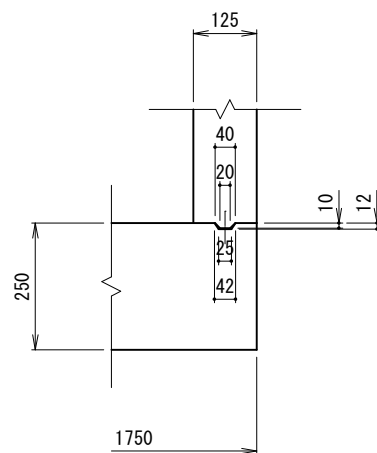
断面図

S=1:30



接合目地部詳細図

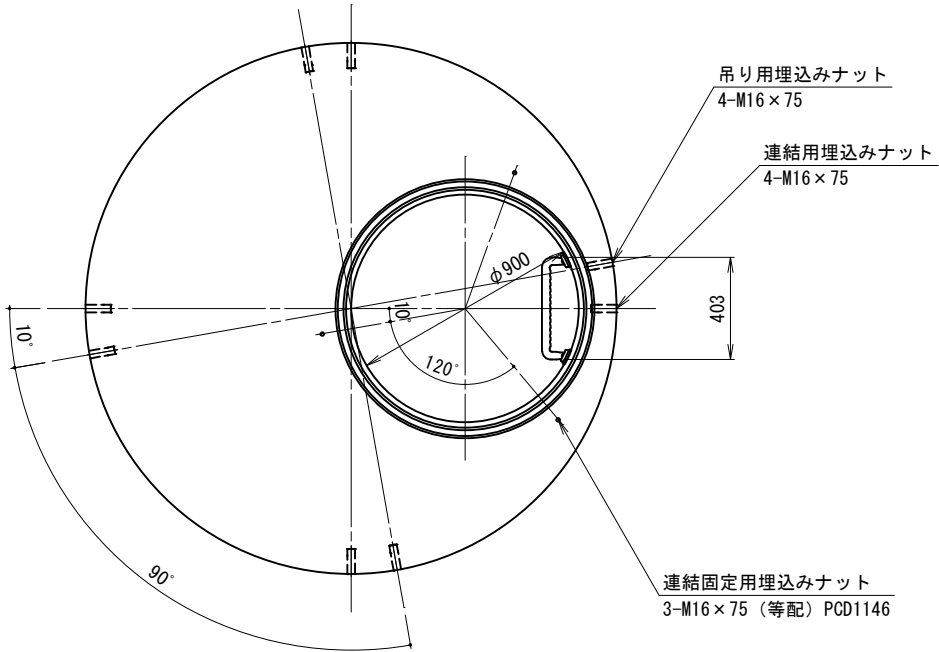
S=1:60



# 江別市型4号人孔中間スラブ

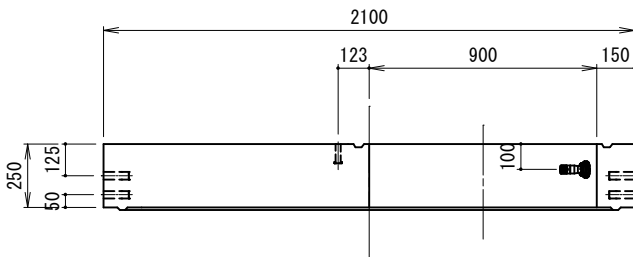
平面図

S=1:30



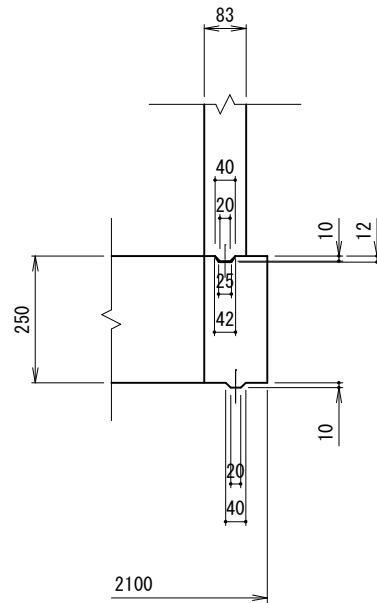
断面図

S=1:30



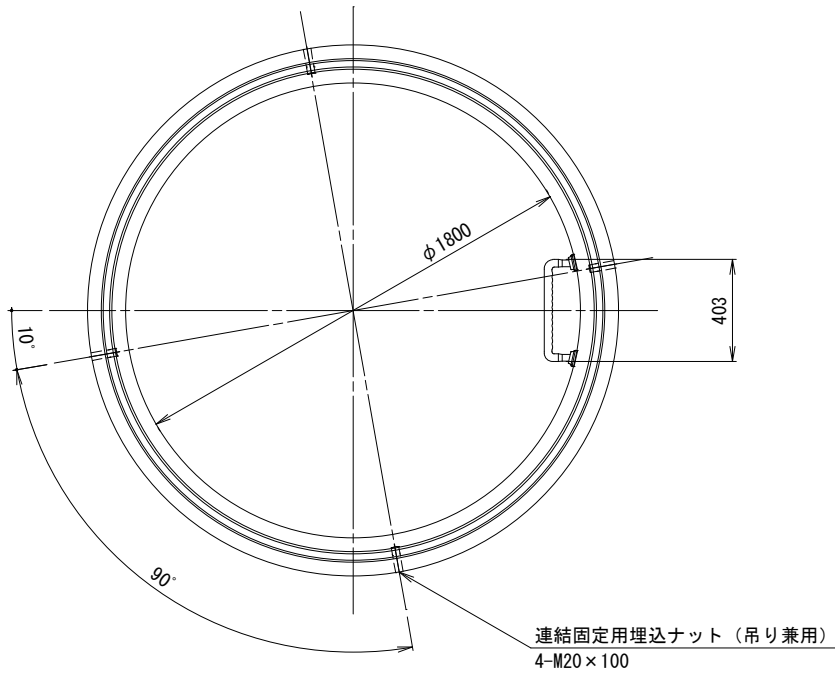
接合目地部詳細図

S=1:60



# 江別市型4号人孔直管

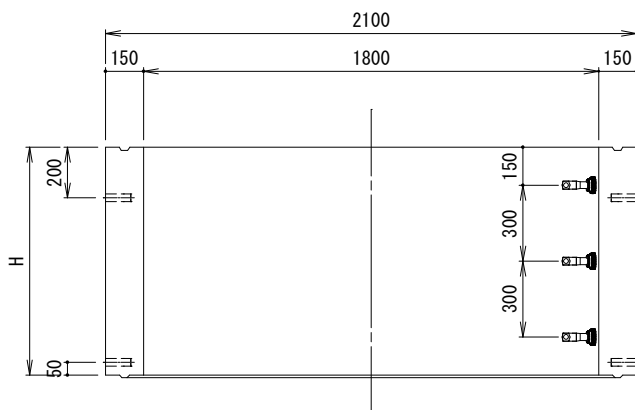
平面図  
S=1:30



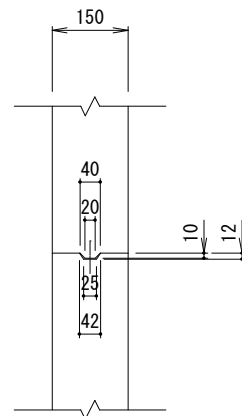
足掛金物設置段数

H(mm)	設置数(段)
600	2
900	3

断面図  
S=1:30

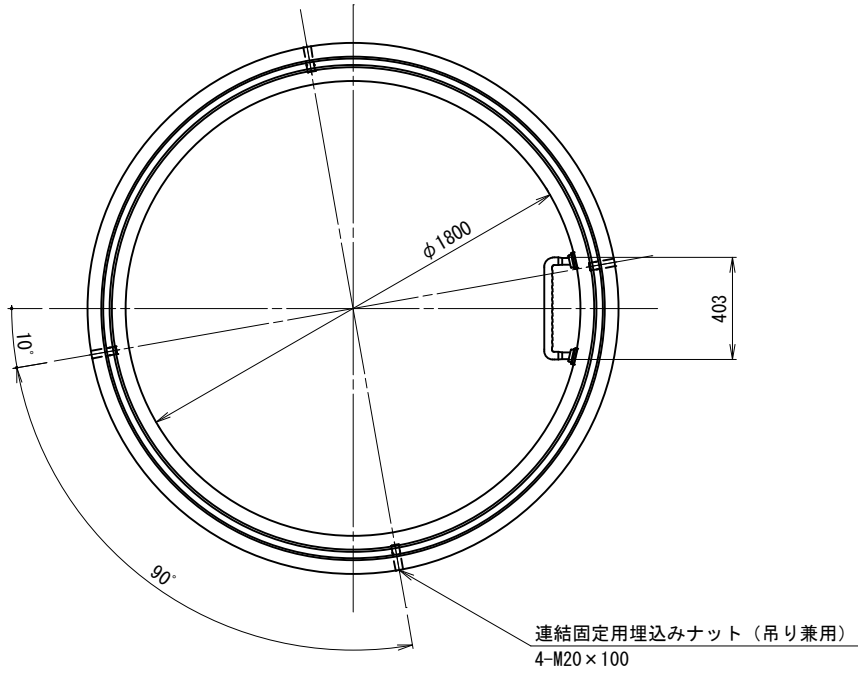


接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型4号人孔管取付直管

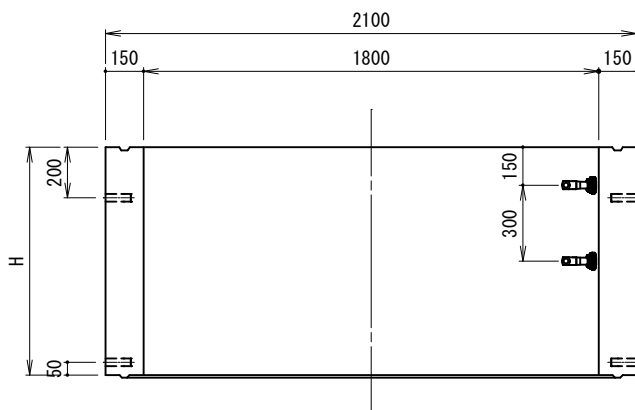
平面図  
S=1:30



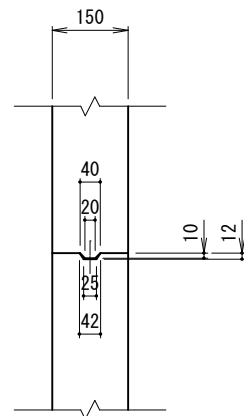
足掛金物設置段数

H (mm)	設置数 (段)
900	1
1200	2
1500	3
1800	4
1950	4

断面図  
S=1:30



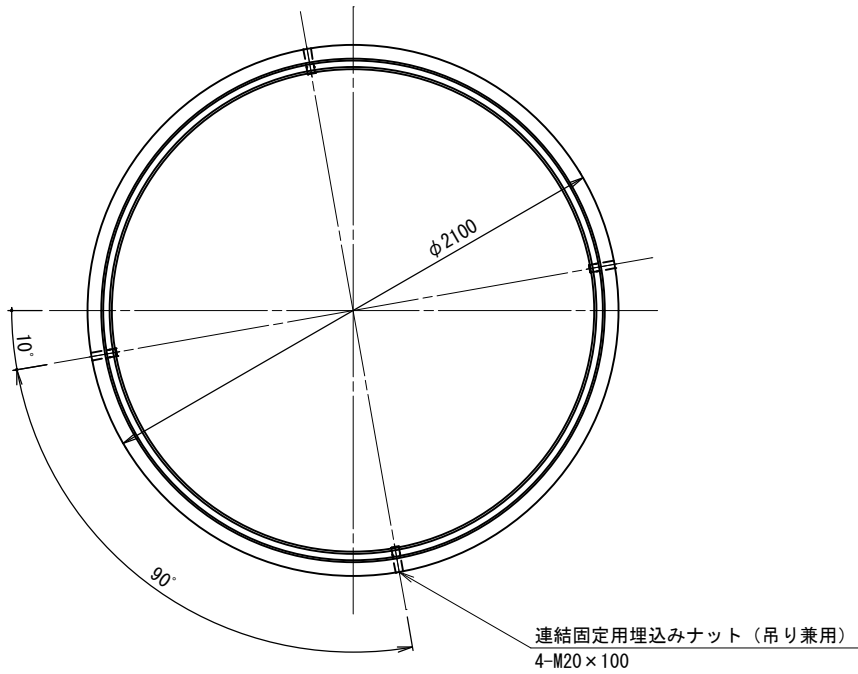
接合目地部詳細図  
S=1:60



# 江別市型4号人孔底版

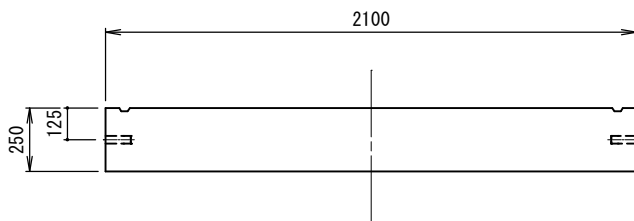
平面図

S=1:30



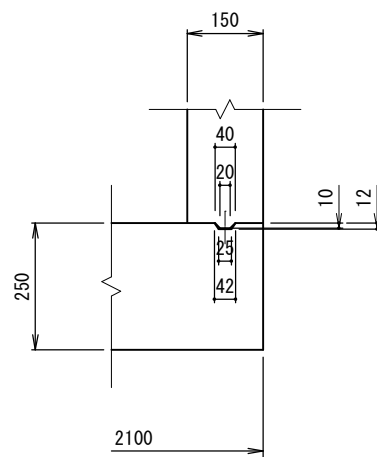
断面図

S=1:30



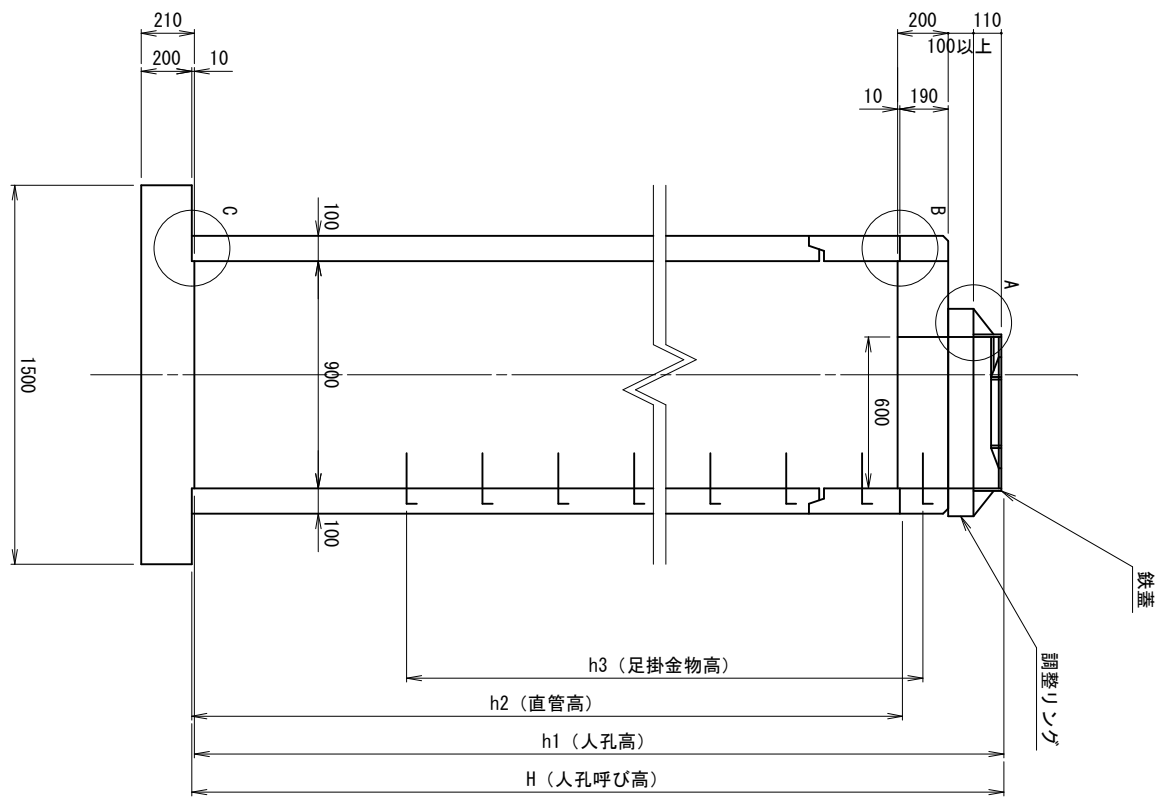
接合目地部詳細図

S=1:60



# 旧江別市型1号人孔標準図

S=1:30

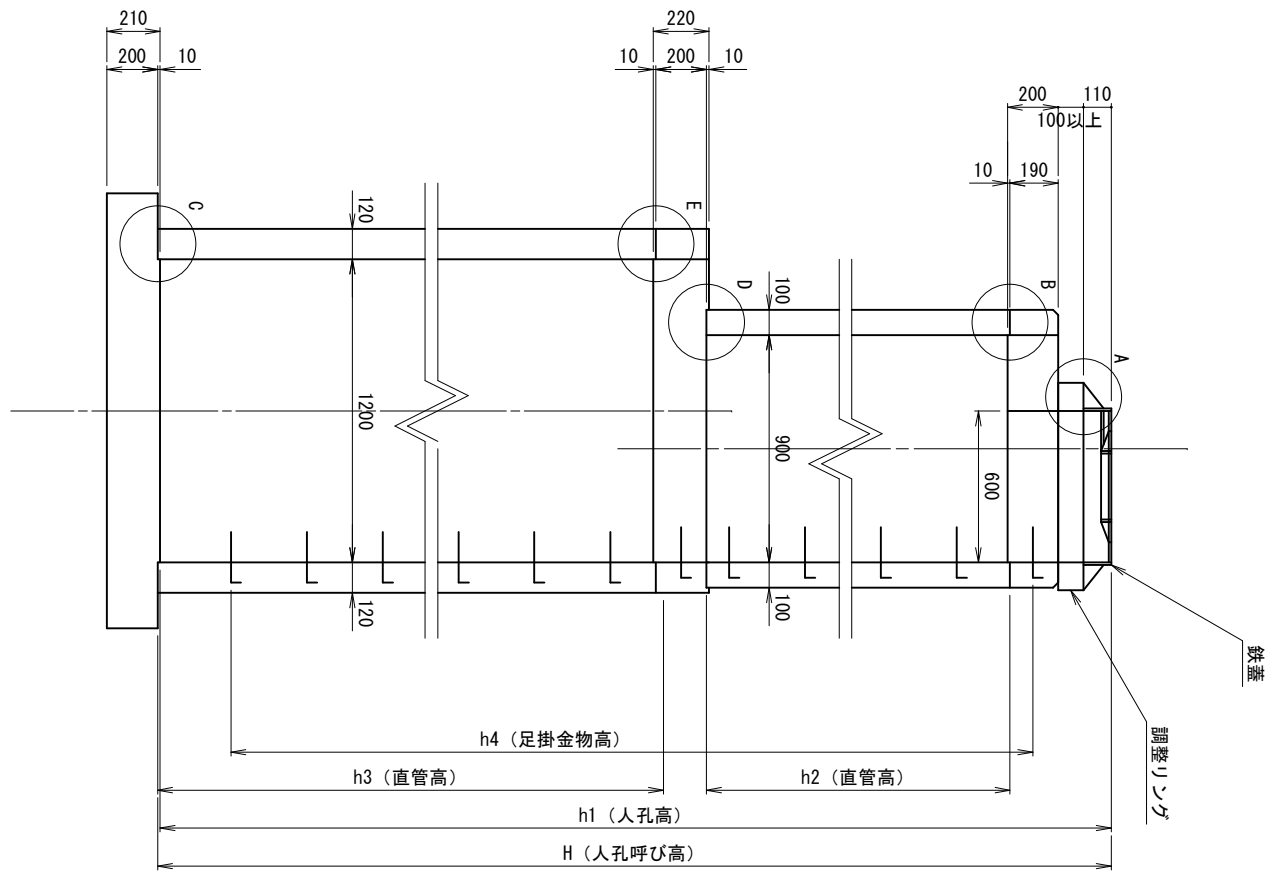






# 旧江別市型2号人孔標準図

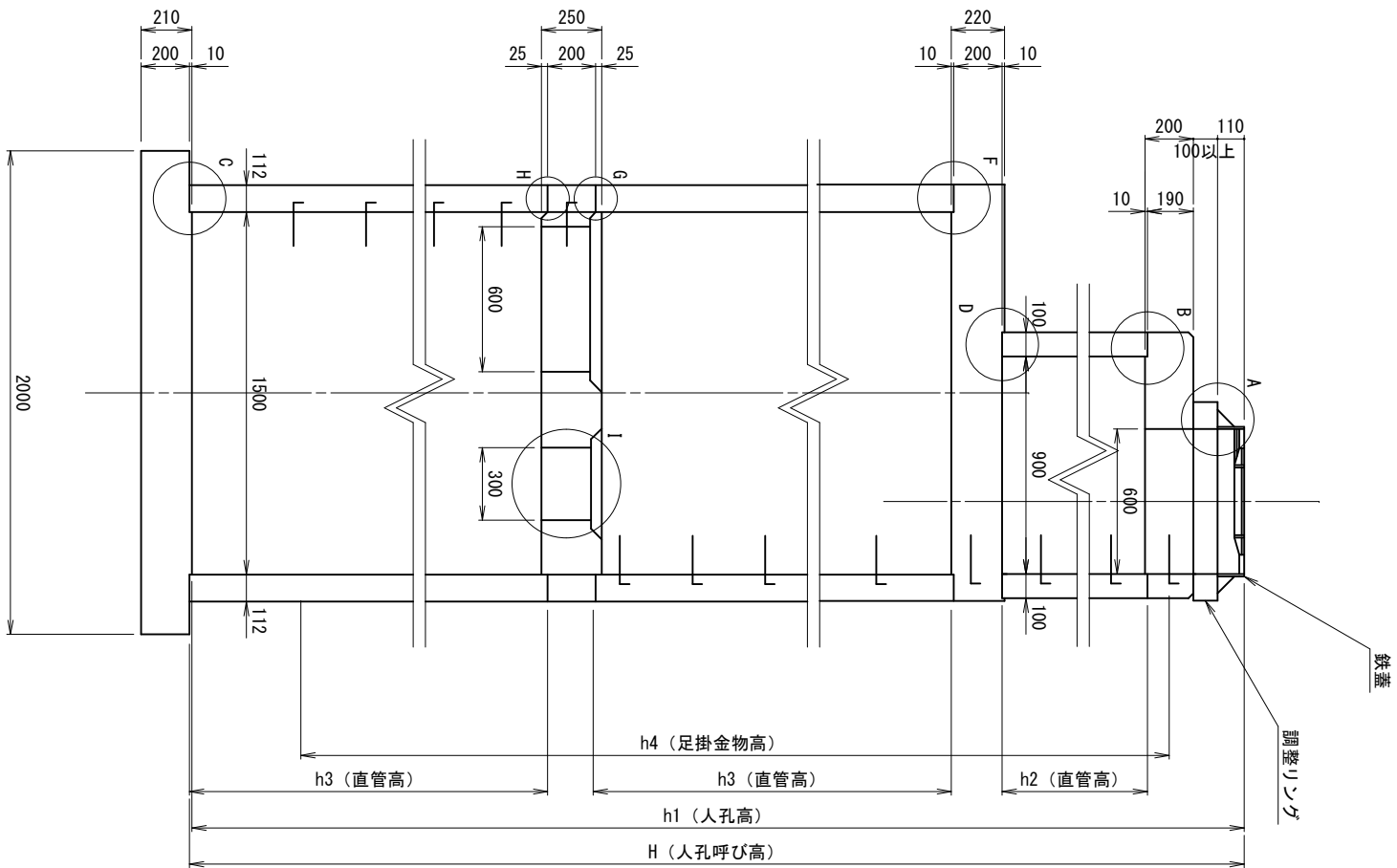
S=1:30





# 旧江別市型3号人孔標準図

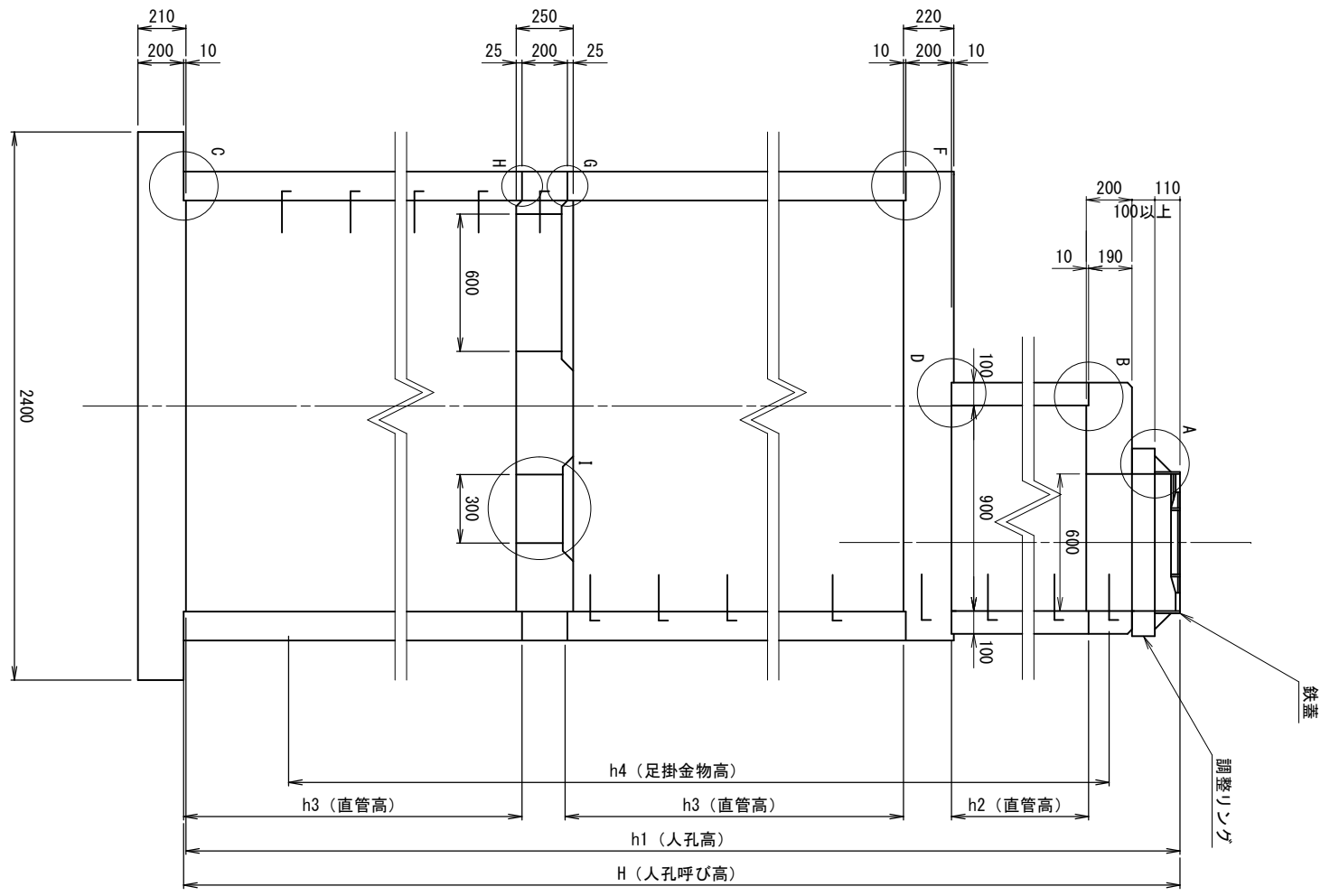
S=1:30





旧江別市型4号人孔標準図

S=1:30

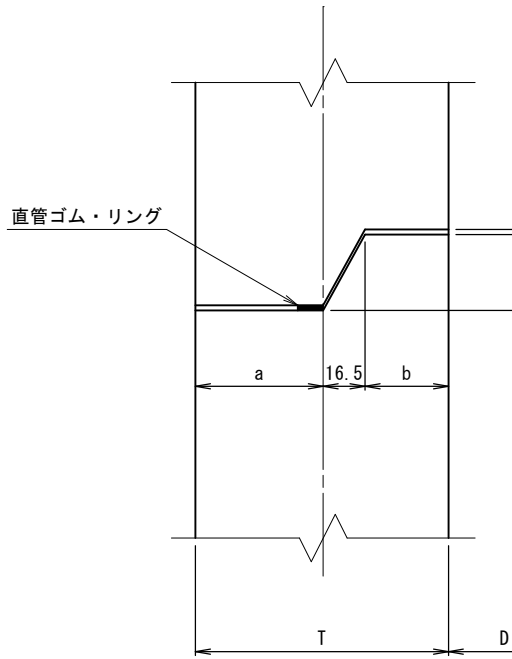




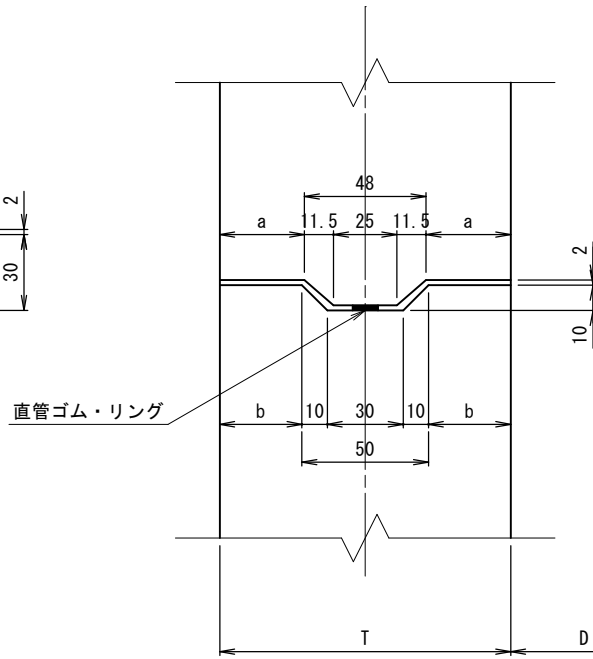
# 旧江別市型人孔組合せ図

S=1:3

1号人孔断面図



2・3号人孔断面図



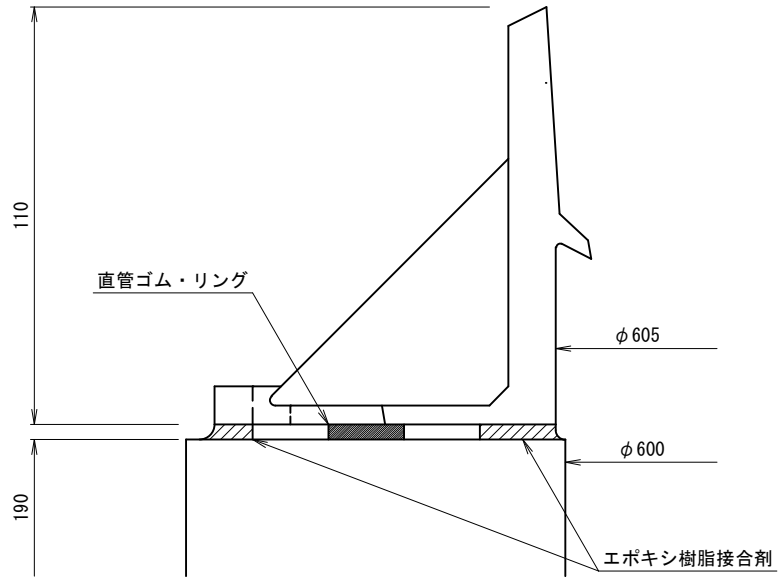
人孔組合せ部寸法表

人孔の種類	D	T	a	b
1号人孔	900	100	50.5	33.0
2号人孔	1200	115	33.5	32.5
3号人孔	1500	112	32.0	31.0

# A部詳細図、B部詳細図

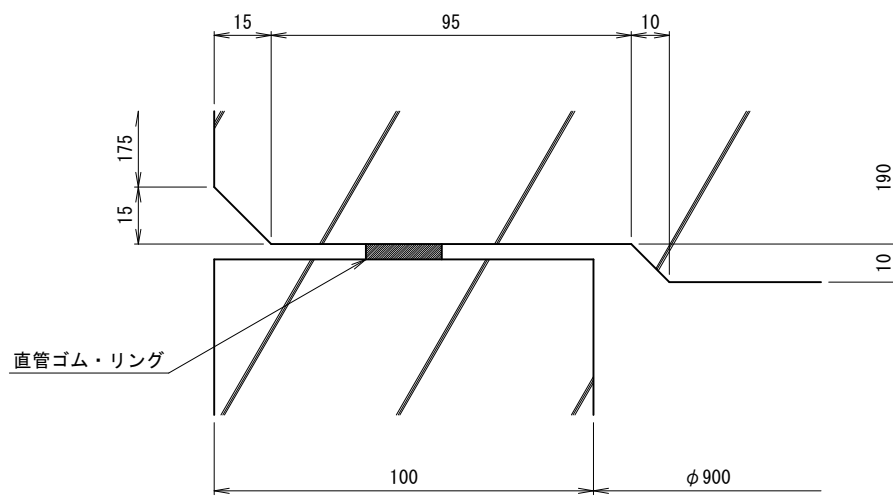
S=1:2

## A部詳細図



注) 直管ゴム・リング使用の際は、エポキシ樹脂接合剤は不要。

## B部詳細図

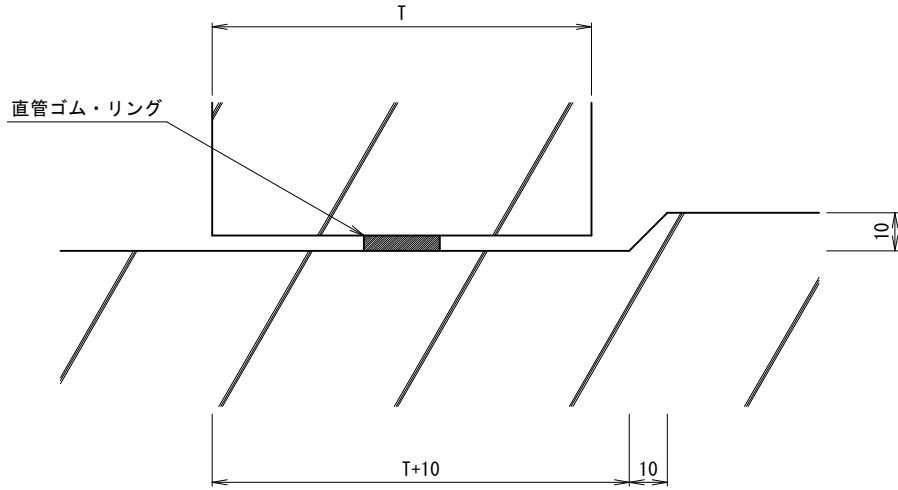




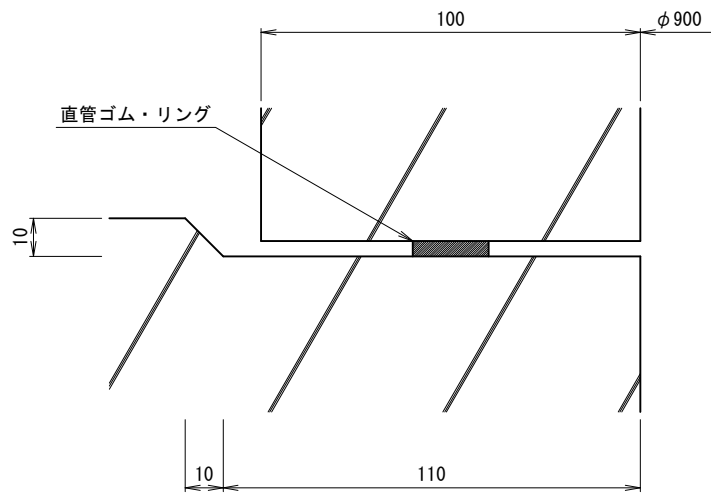
# C部詳細図、D部詳細図

S=1:2

## C部詳細図



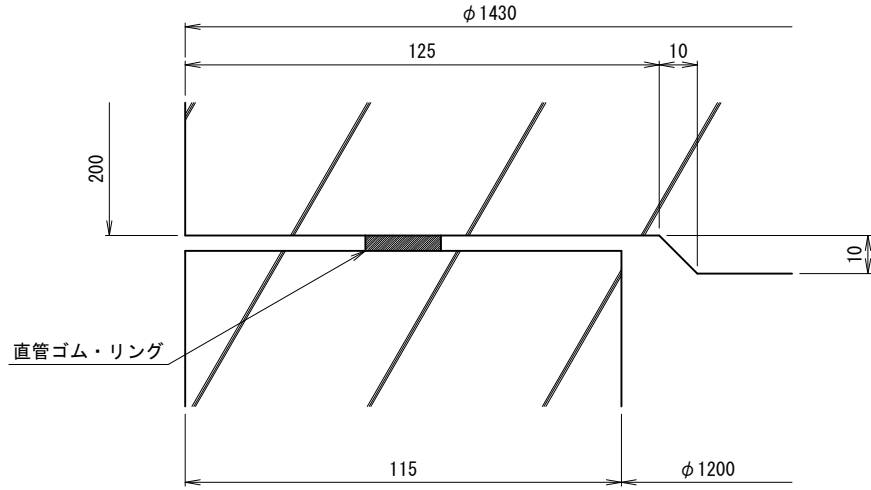
## D部詳細図



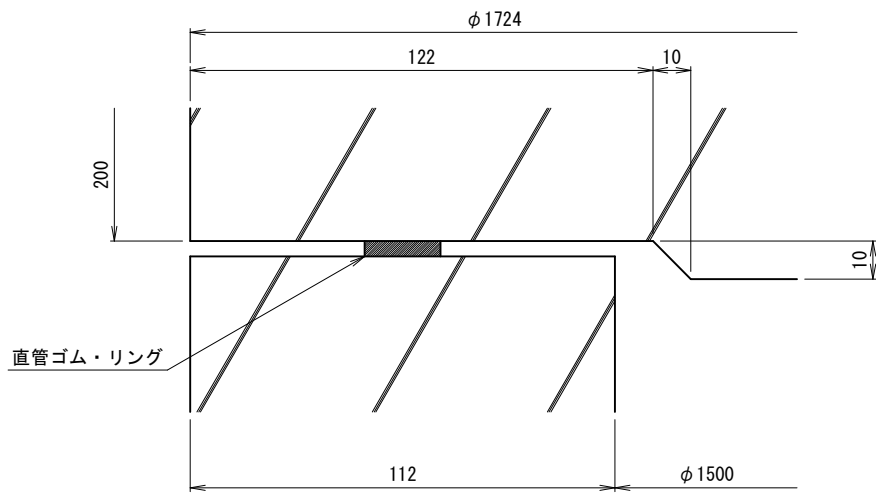
# E部詳細図、F部詳細図

S=1:2

## E部詳細図



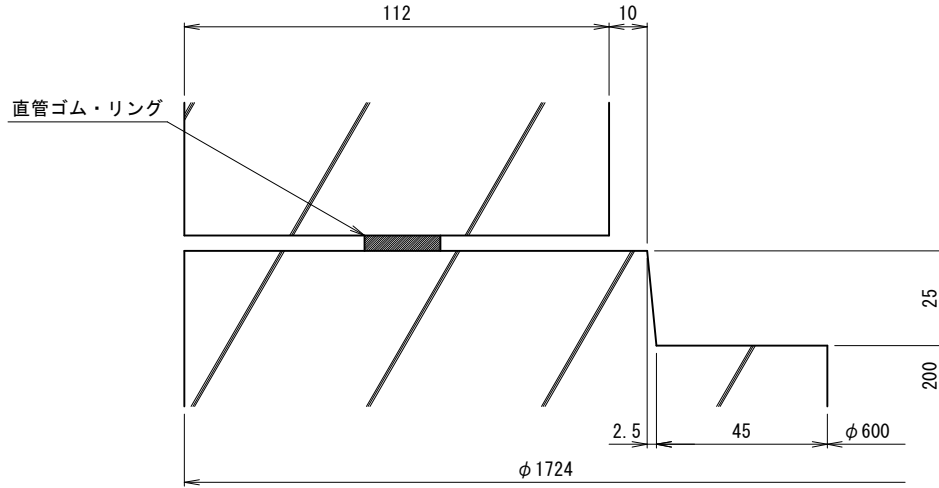
## F部詳細図



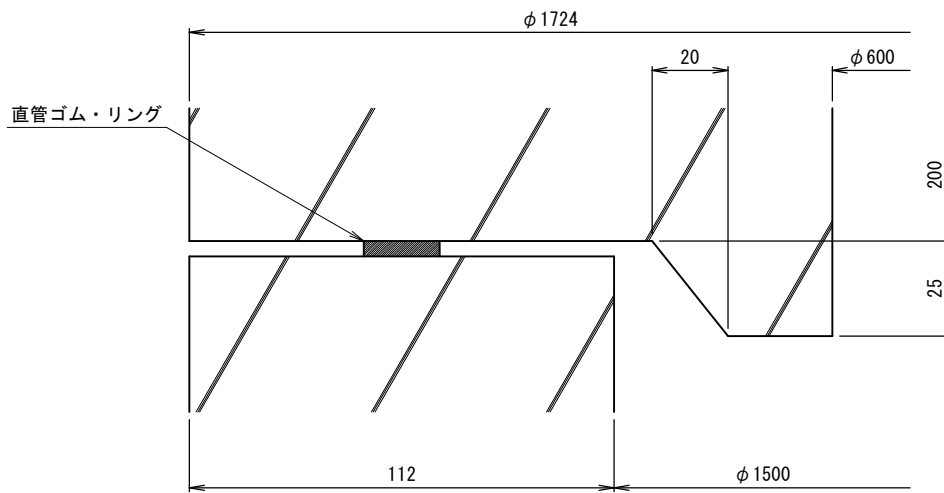
# G部詳細図、H部詳細図

S=1:2

## G部詳細図



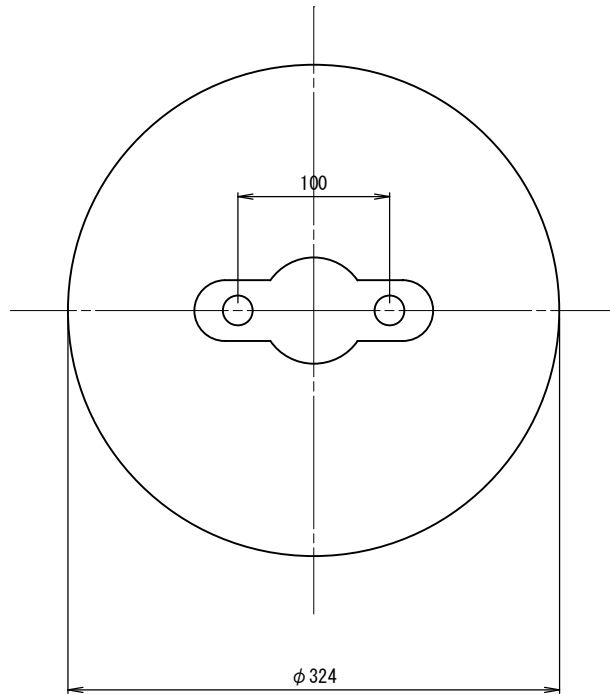
## H部詳細図



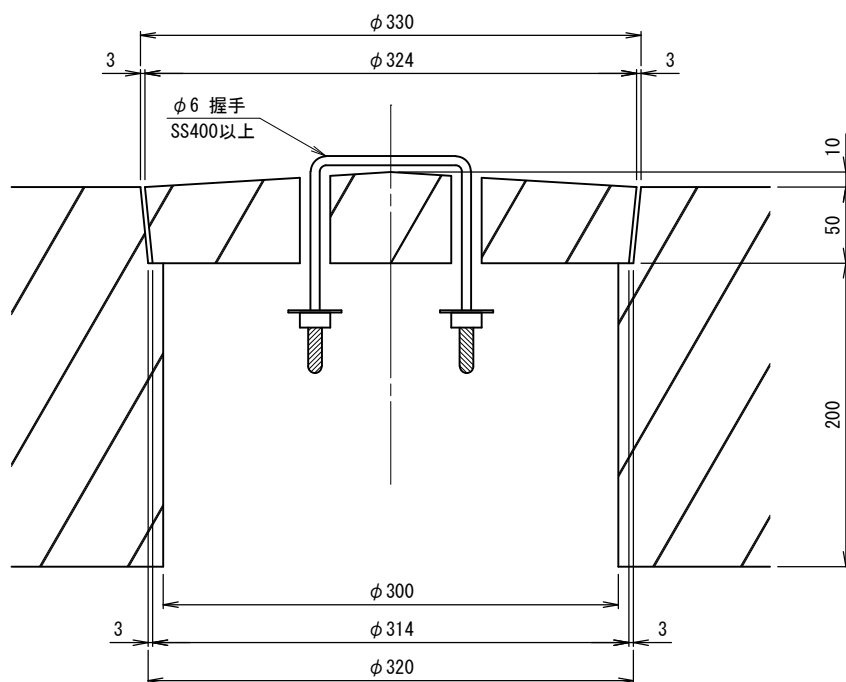
# I部詳細図

S=1:5

## 掃除用開口部蓋（中段スラブ）平面図



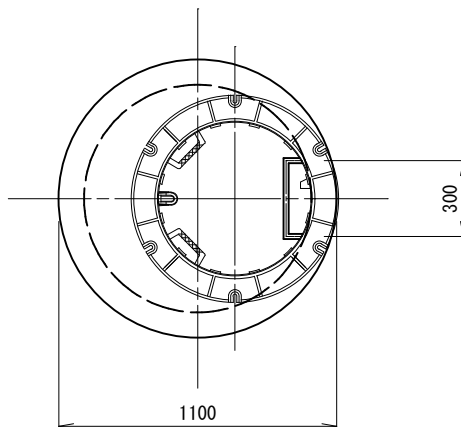
## 掃除用開口部蓋（中段スラブ）断面図



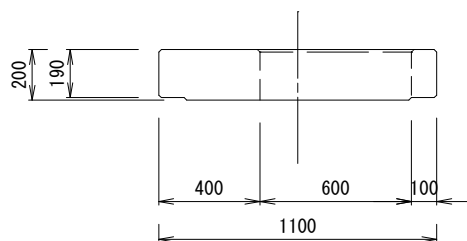
# 旧江別市型1号人孔スラブ

S=1:30

平面図



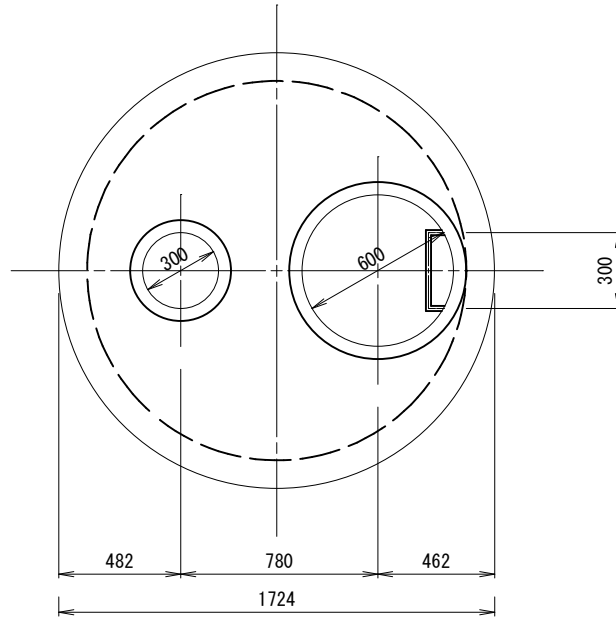
断面図



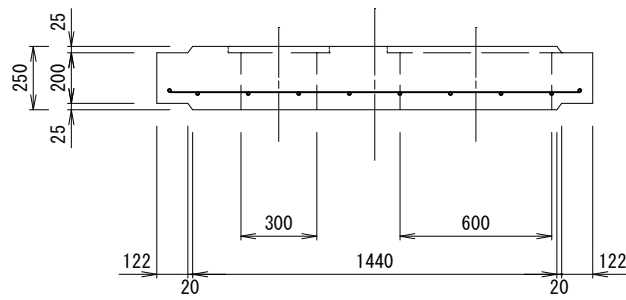
# 旧江別市型3号人孔中段スラブ

S=1:30

平面図



断面図

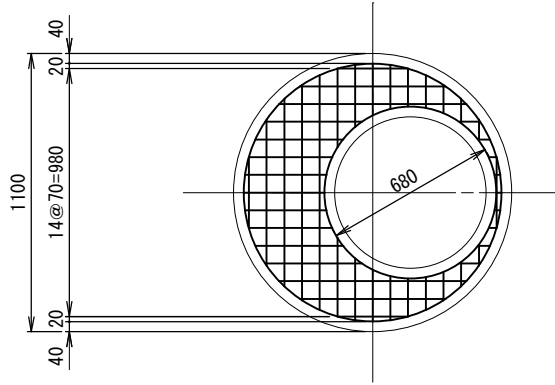


# 旧江別市型1号人孔スラブ配筋図

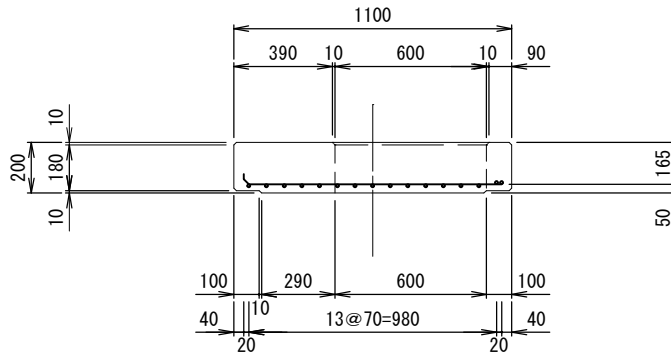
S=1:30

リング・ダイヤ筋共にD13

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

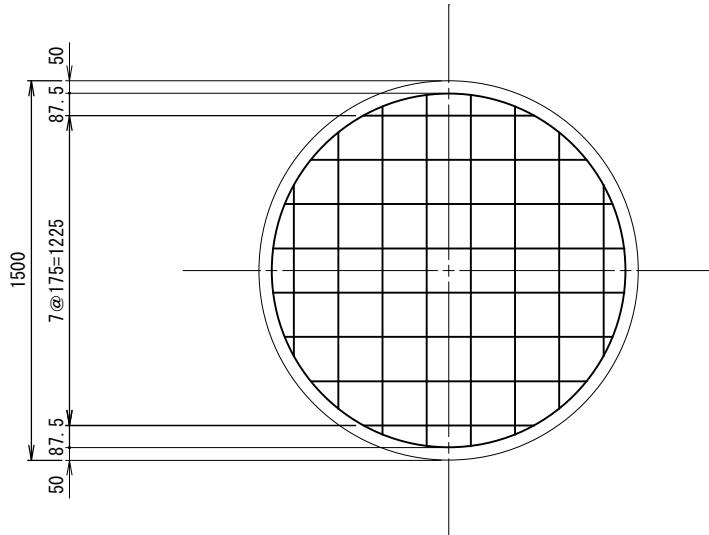
注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 旧江別市型1号人孔ベース配筋図

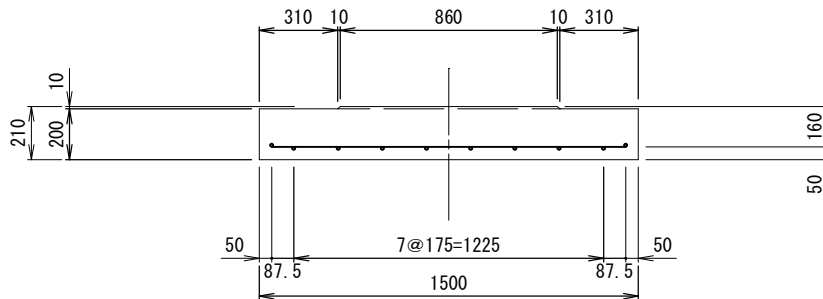
S=1:30

リング筋共にD13

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

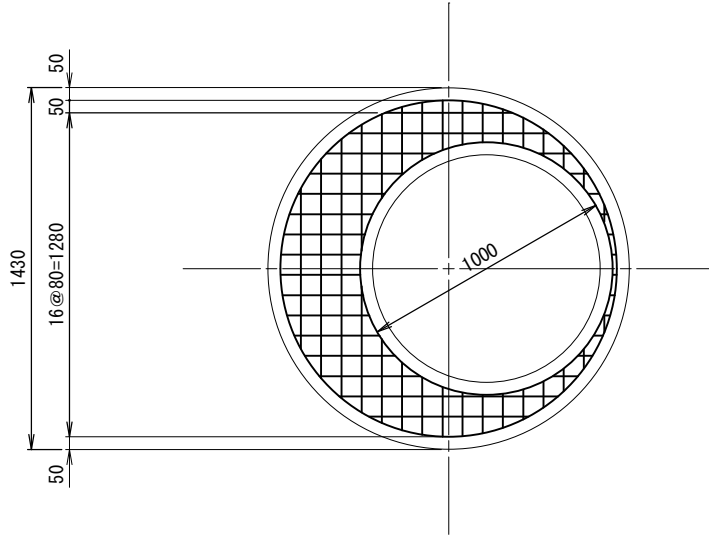


# 旧江別市型2号人孔スラブ配筋図

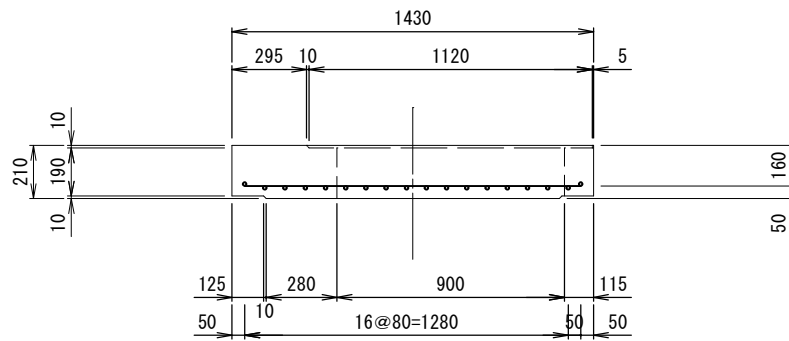
S=1:30

D13、リング・ダイヤ筋共にD16

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

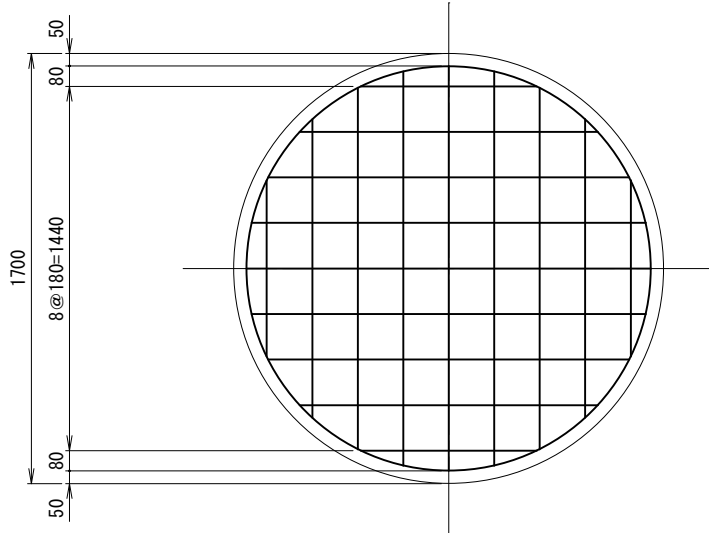
注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 旧江別市型2号人孔ベース配筋図

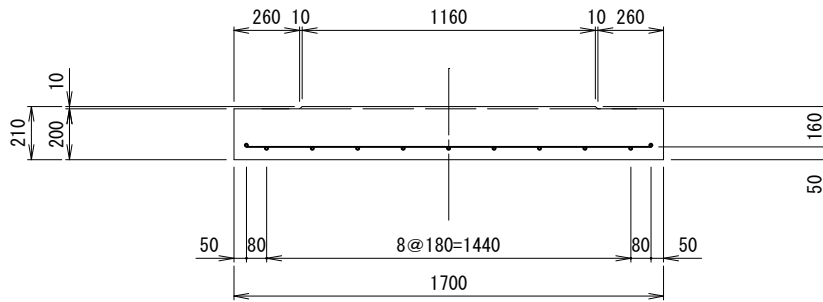
S=1:30

リング筋共にD13

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

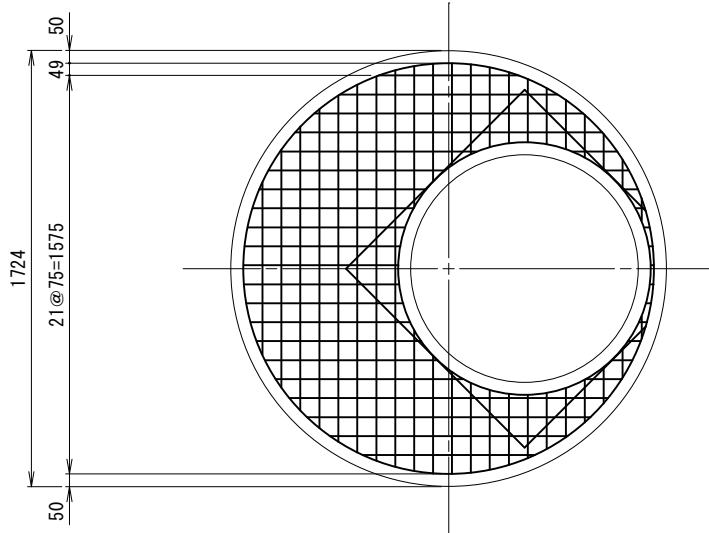
注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 旧江別市型3号人孔スラブ配筋図

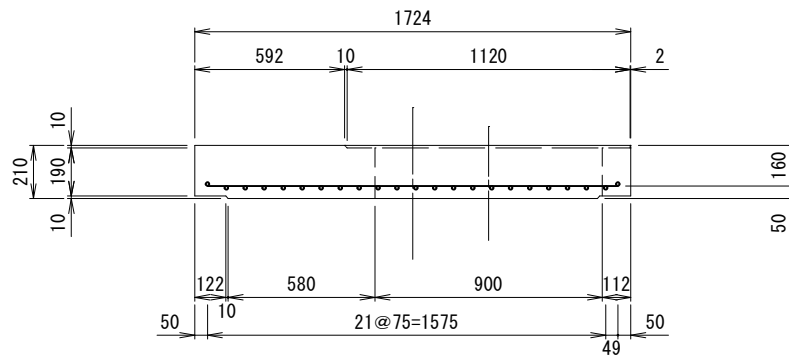
S=1:30

D13、リング・ダイヤ筋共にD16

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

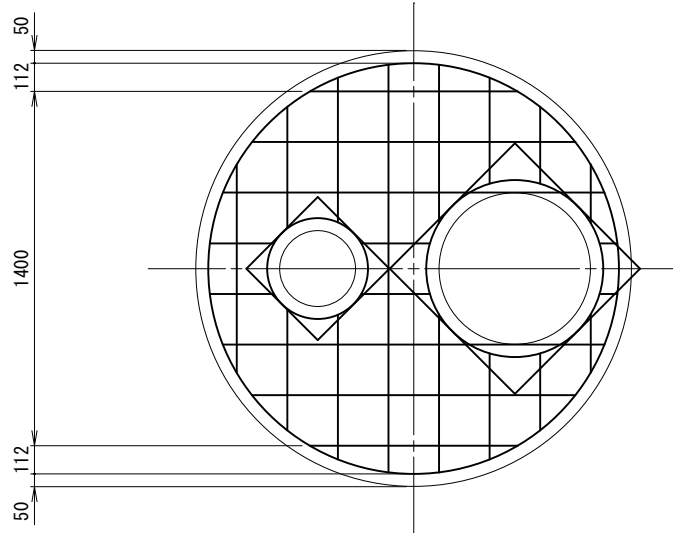
注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 旧江別市型3号人孔中段スラブ配筋図

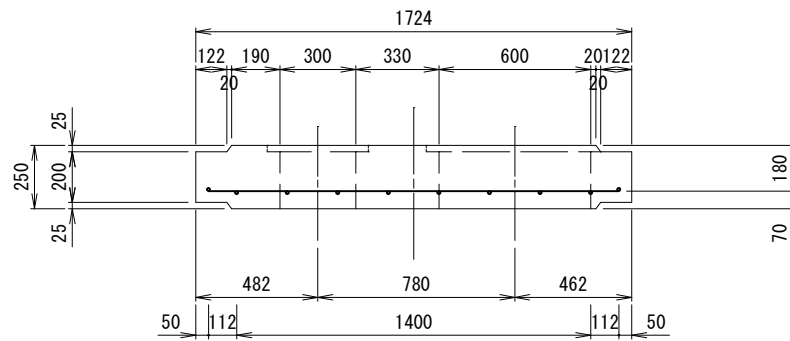
S=1:30

リング・ダイヤ筋共にD13

## 平面図



## 断面図



## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

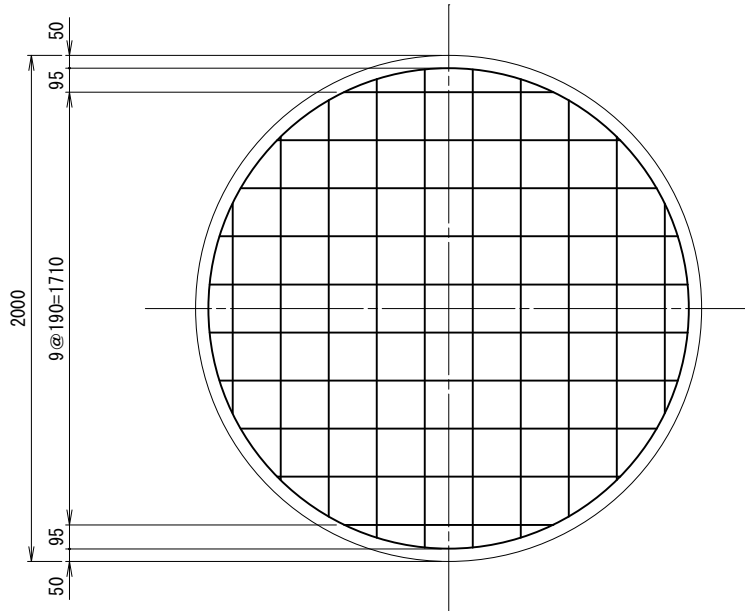
注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 旧江別市型3号人孔ベース配筋図

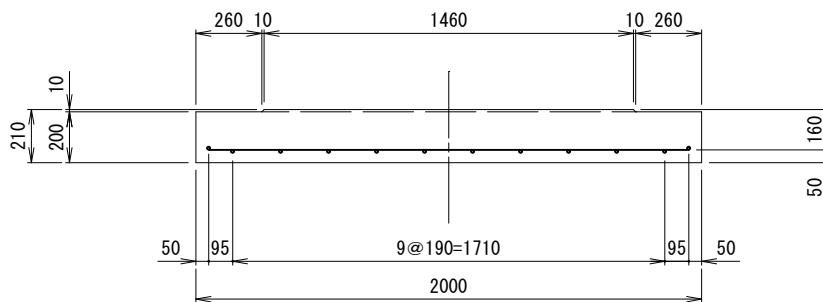
S=1:30

リング筋共にD13

## 平面図



## 断面図



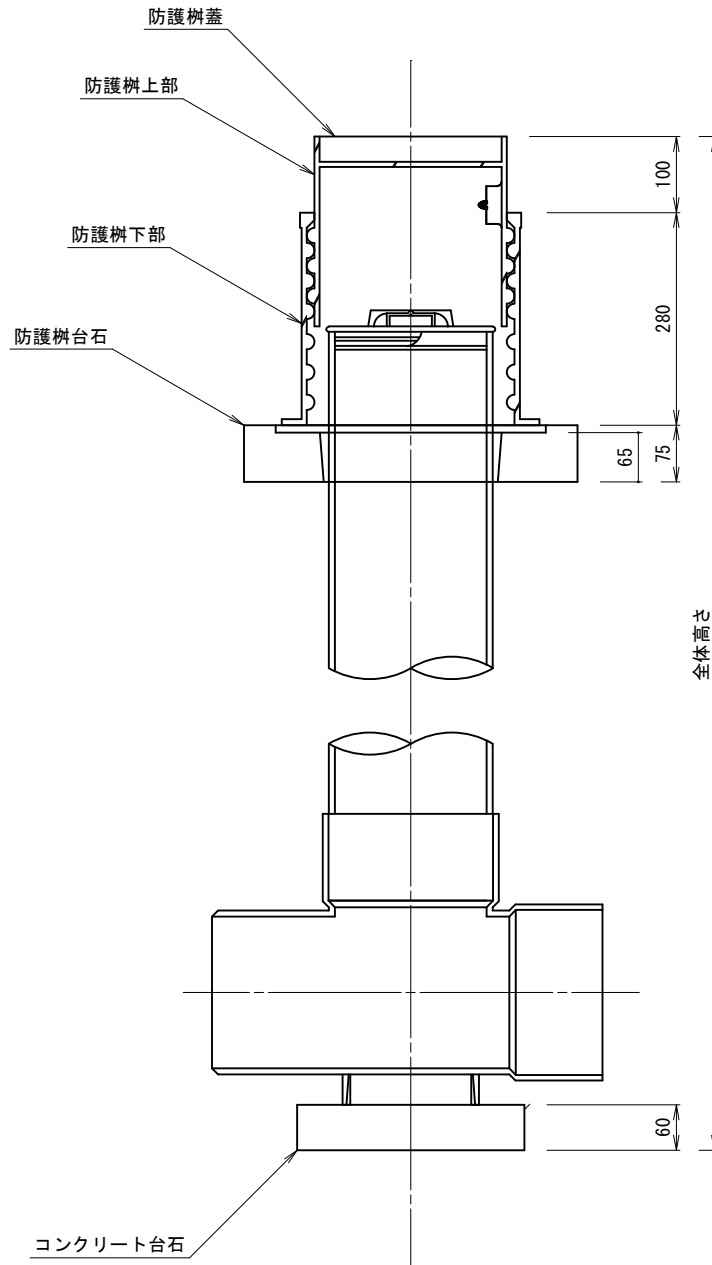
## 使用材一覧表

使用材	摘要
鉄筋	SD345
コンクリート	RC-1

注) 上記の配筋図は標準型人孔に適用するもので、これ以外の場合は特記仕様によるものとする。

# 塩ビ製小型マンホール

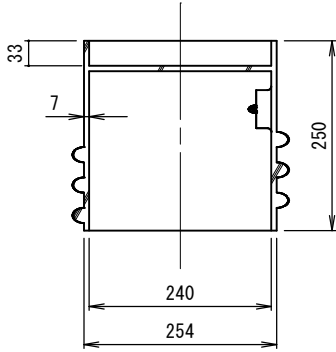
S=1:10



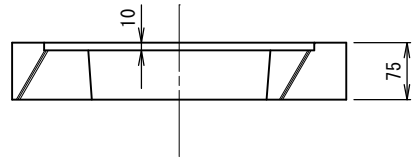
# 鑄鐵防護柵 (部品図)

S=1:10

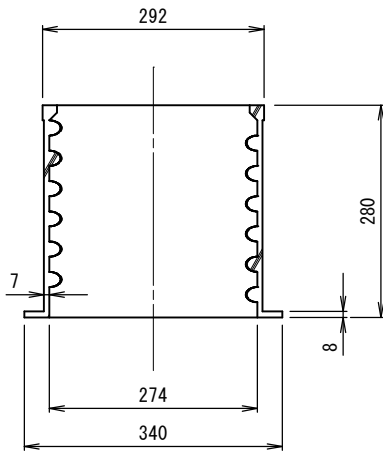
防護柵上部断面図



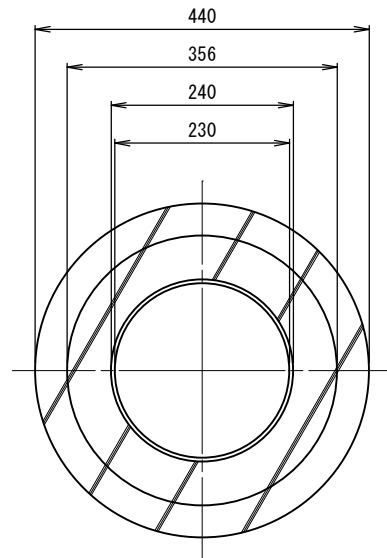
防護柵台石断面図



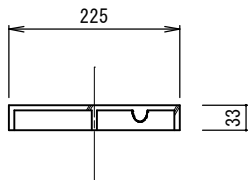
防護柵下部断面図



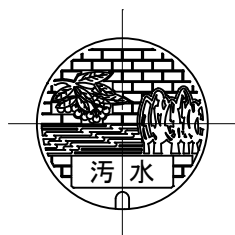
防護柵台石平面図



防護柵蓋断面図



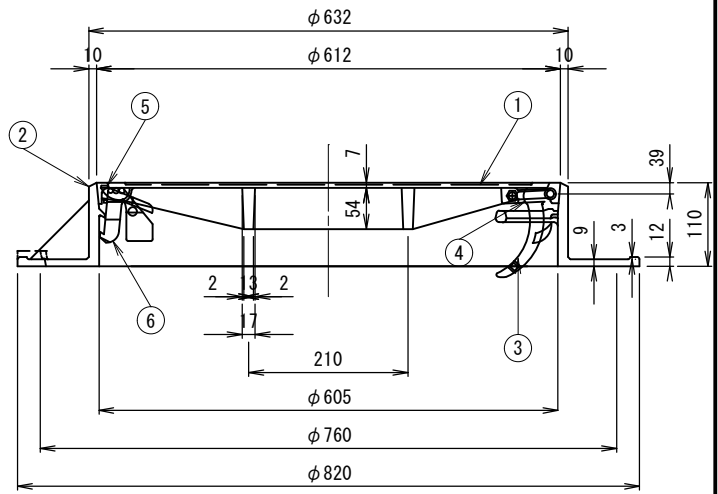
防護柵蓋平面図



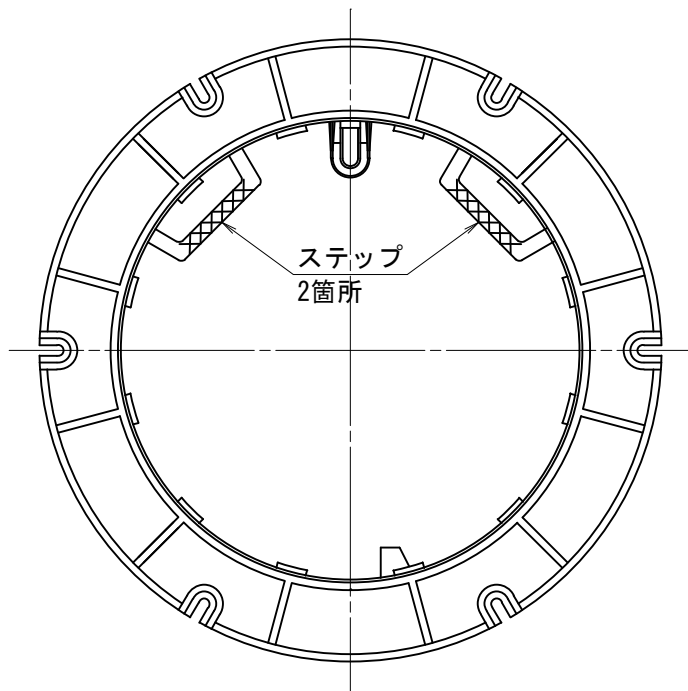
# 人孔鉄蓋・鉄枠 (T-25)

S=1:10

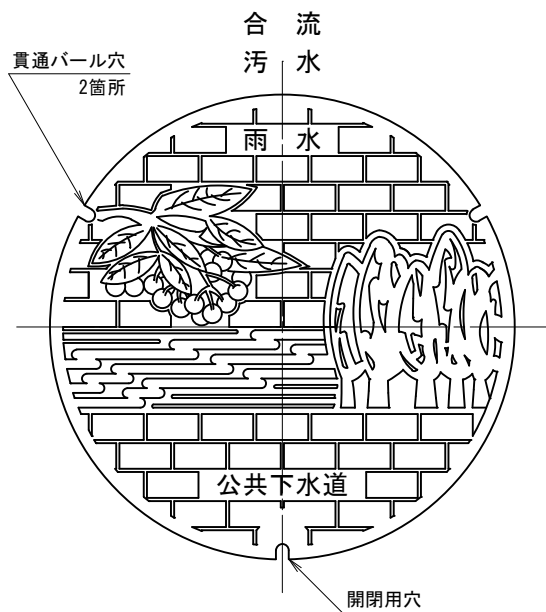
断面図



鉄枠平面図



鉄蓋平面図



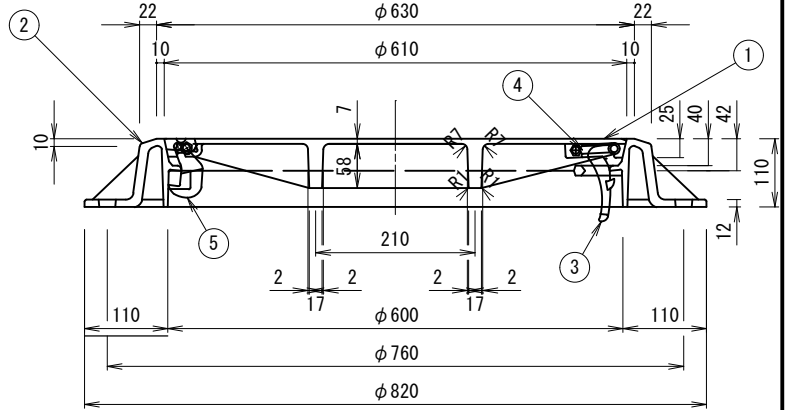
番号	名称	材質	個数	備考
1	カバー	FCD700	1	
2	フレーム	FCD600	1	
3	蝶番ピン	FCD700	1	
4	蝶番押え	FCD450	1	
5	閉鎖蓋	FCD450	1	
6	鍵	FCD450	1	



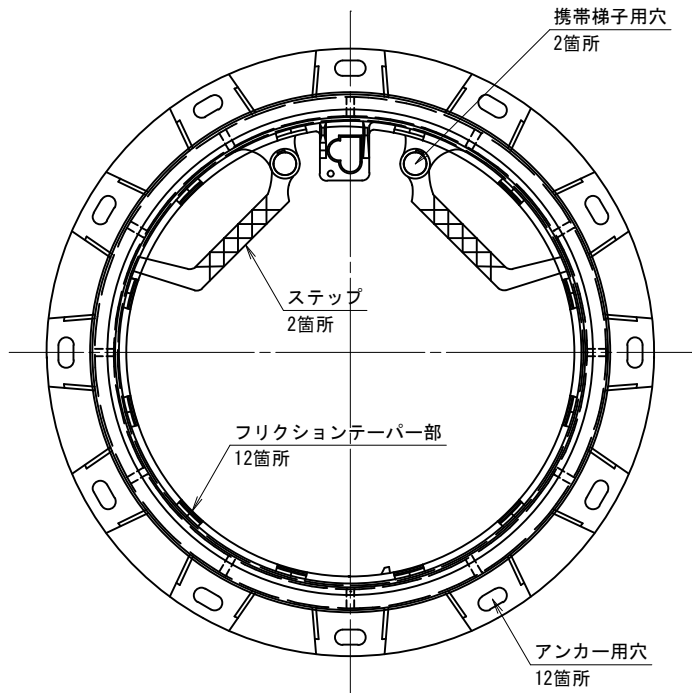
# 除雪対応型人孔鉄蓋・鉄枠 (T-25)

S=1:10

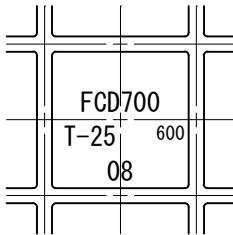
断面図



鉄枠平面図

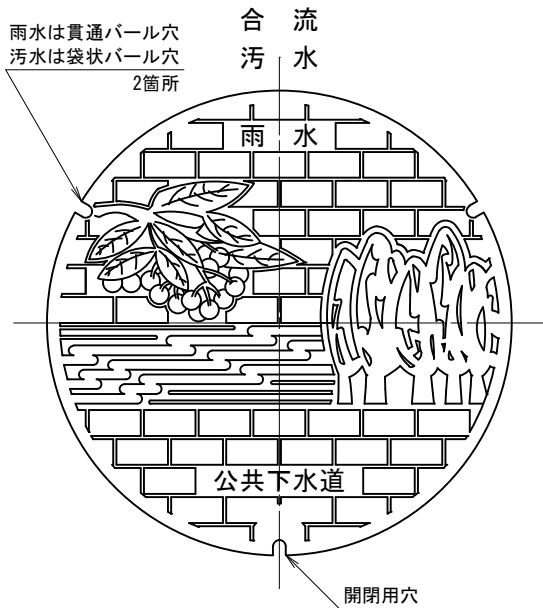


蓋裏面表示詳細図  
NON SCALE



注) 表示は、材質、耐荷重、製造年を示す。

鉄蓋平面図

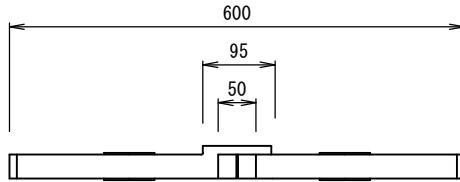


番号	名称	材質	個数	備考
1	カバー	FCD700	1	
2	フレーム	FCD600	1	
3	蝶番ピン	FCD700	1	
4	蝶番押え	ポリプラスチック	1	
5	鍵	FCD450	1	

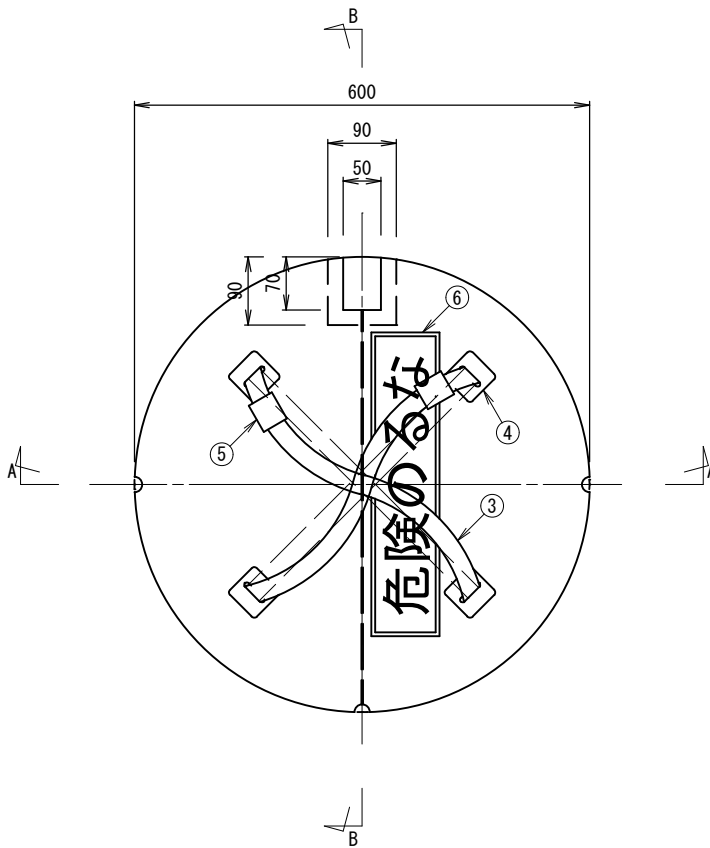
# 断熱蓋

S=1/10

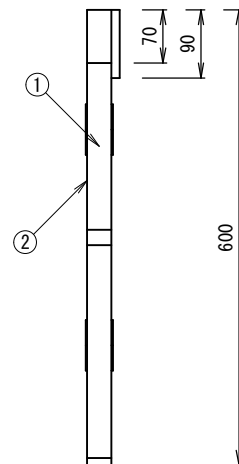
A-A断面図



平面図



B-B断面図

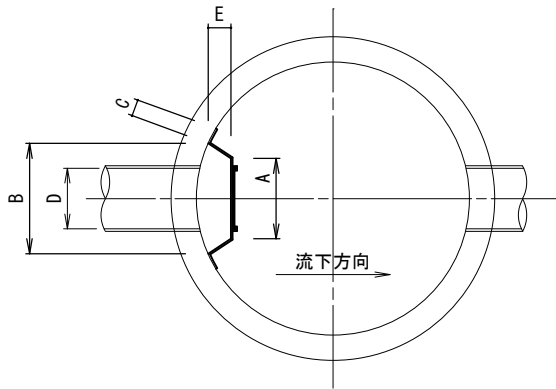


記号	部品名	数量
①	芯材 (発泡ポリエチレン)	1
②	表面防水被覆 (ウレタン樹脂)	
③	ベルトA (取付ベルト) L=1400	2
④	平座金 (樹脂製・ベルト補強座金) 50×50 t=2.0	8
⑤	プラスチックバックル	2
⑥	注意文字「注意のるな」	1

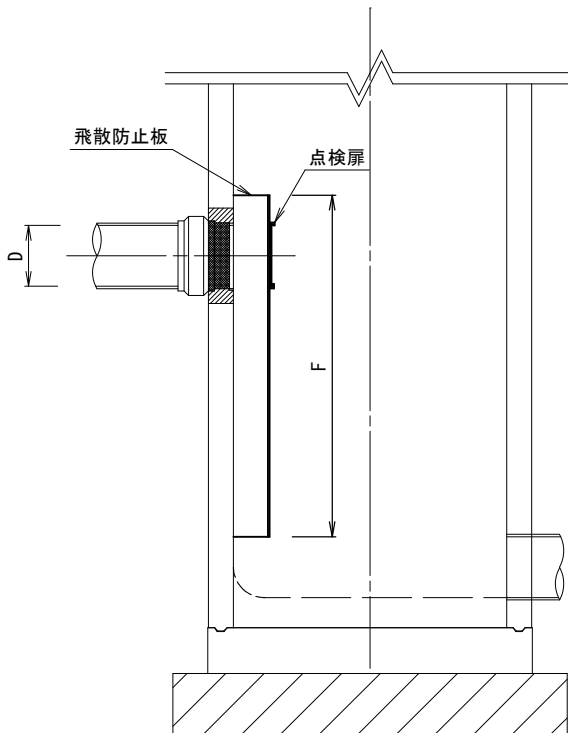
# 飛散防止板

S=1:25

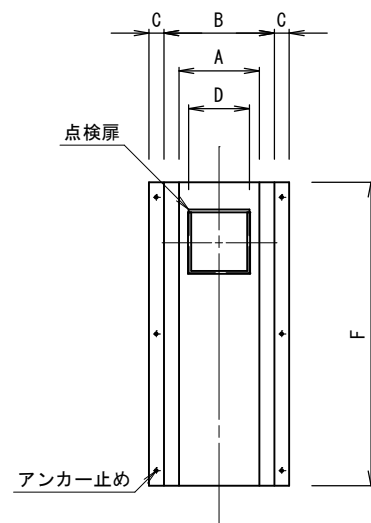
平面図



断面図



飛散防止板正面図



注) 1. 副管を設置する箇所内で内副管とすると人孔内が狭くなる場合に、飛散防止板の設置を検討する。

2. 各種寸法は別途設計書や協議により定める。